



リリースノート

バージョン:	6
更新日:	2020 年 02 月 21 日
互換性:	GX 16 U7 以降

SmartDevicesPlus 6	3
新機能	3
新しいデザイン	3
ダークモード	7
新しいテンプレート	8
Stencil ライブラリ	10
新しいウィザードオプション	15
エディターの機能	21
メニューの機能	27
新しい API 機能	28
新しいユーザーコントロール	31
新しいグラフ	36
アップグレード	40
SmartDevicesPlus 6.1	40
新機能	40
修正済みの問題	40
SmartDevicesPlus 6.2	41
修正済みの問題	41
SmartDevicesPlus 6.3	42
新機能	42
修正済みの問題	42

SmartDevicesPlus 6

新機能

新しいデザイン

Clean Dark

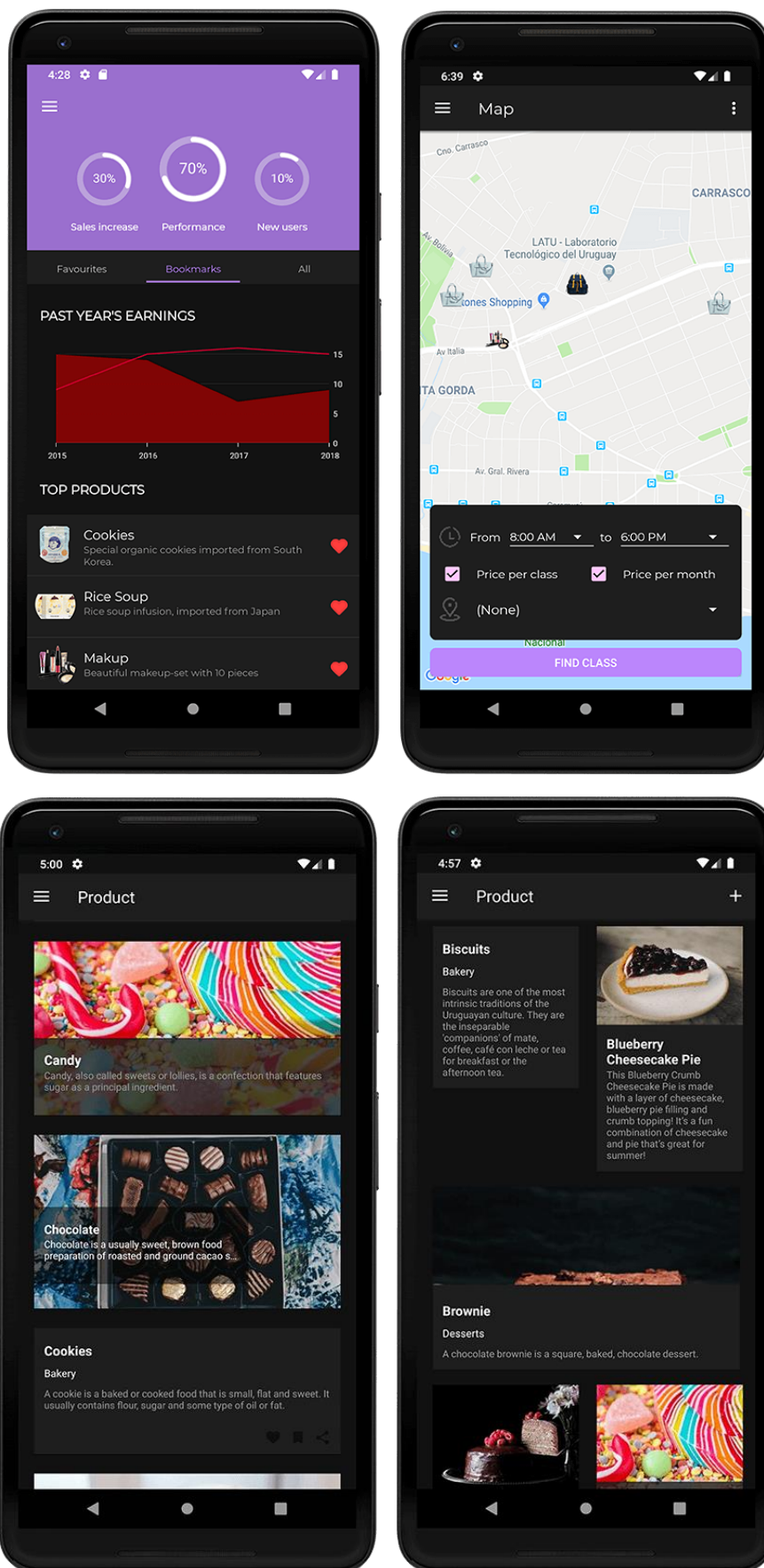
ダーク マテリアル デザインの傾向に合わせたダークデザインです。

このデザインは常にダークであるため、ダークモードをサポートしていません。

このデザインでは、既定で次の設定を使用します：

- カラーパレット：パープル、ダークスタイル
- ホーム：インジケータ付きダッシュボード、タブなし、アプリケーションバーは非表示で起動、オンボーディングは有効
- メニュー：背景画像付きダークメニュー
- セキュリティ：透過画像付きログイン (ダーク)：ロゴ付き登録
- フィールドのデザイン：ラベル位置はプラットフォームの既定、データセクションは立体的なカード、編集フィールドはカラーボックス付き

サンプル:



Transport

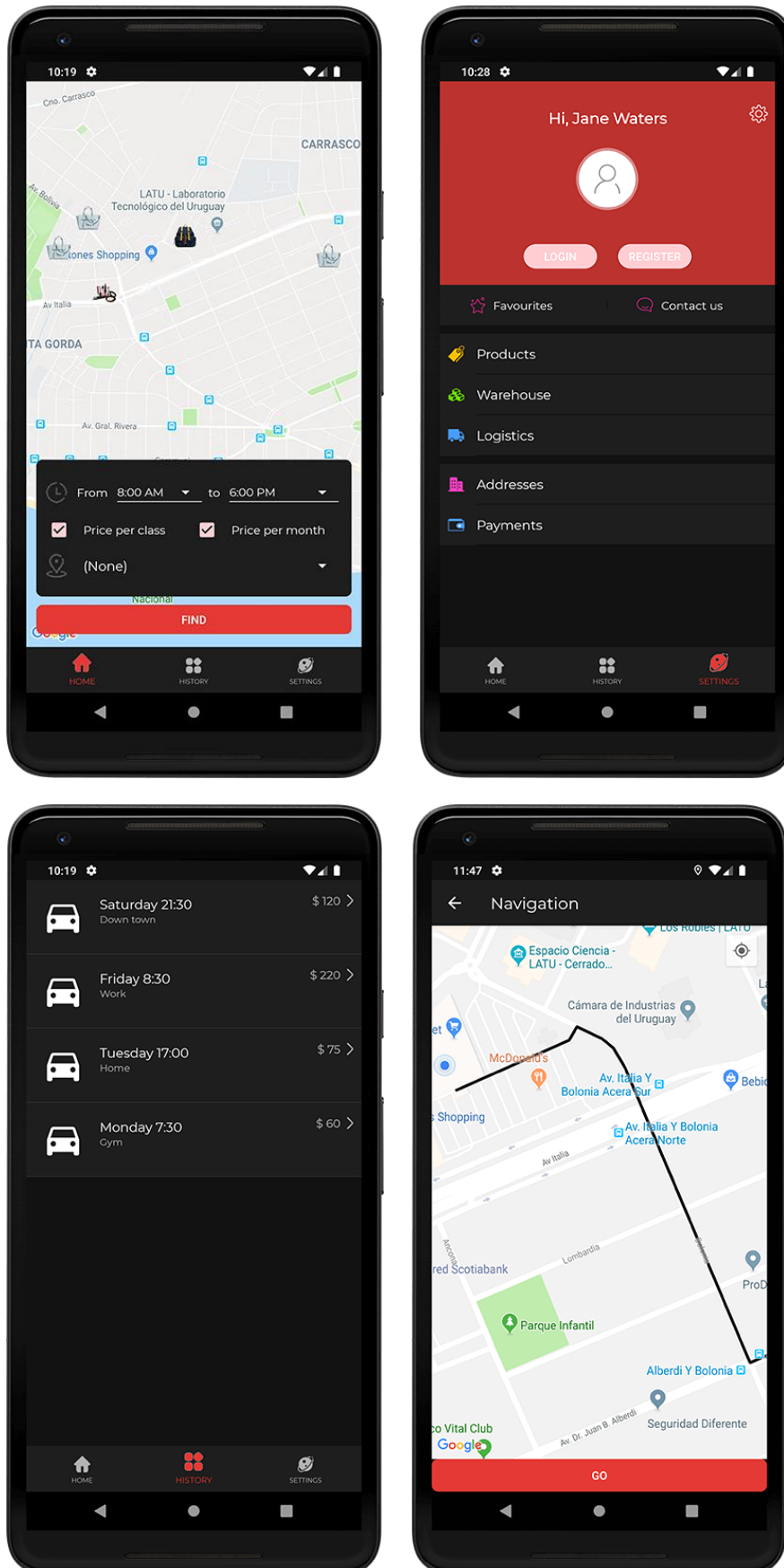
ダーク マテリアル デザインの傾向に合わせたダークデザインであり、マップやルートが追加されています。

このデザインは常にダークであるため、ダークモードをサポートしていません。

このデザインでは、既定で次の設定を使用します：

- カラーパレット：赤、ダークスタイル
- ホーム：タブ付きマップ、アプリケーションバーなし、オンボーディングは有効
- メニュー：メニューなし
- セキュリティ：透過画像付きログイン (ダーク)：ロゴ付き登録
- フィールドのデザイン：ラベル位置はプラットフォームの既定、データセクションはフラットなボックス、編集フィールドは下線付き

サンプル:



ダークモード

ダークモードは、ユーザーがスマートフォンのカラー動作として定義した設定に合わせて GeneXus アプリケーションの外観と操作感をカスタマイズできる機能です。この機能は、ダークモードをネイティブサポートするデバイスでのみ機能します。

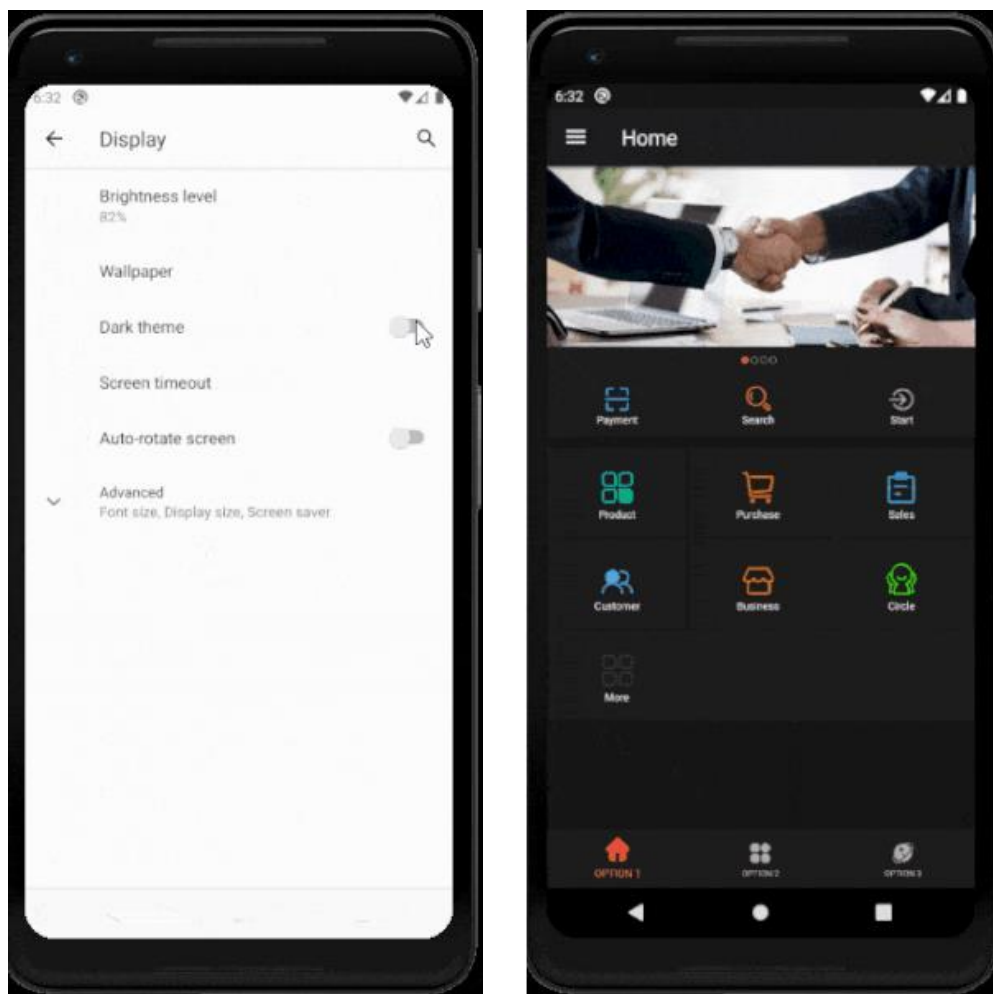
SmartDevicesPlus では、この機能をサポートするデザインが選択されている場合に、デザイン システム ウィザードを使用して簡単にオンにすることができます。

現在、「ダークモード」は以下の SmartDevicesPlus デザインで利用可能です。

- Clean
- E-Commerce
- Education
- Fitness

この機能がオンのときにアプリケーションがどのように変化するか確認するには、スマートフォンの設定を変更します。

例:



新しいテンプレート

SmartDevicesPlus 6 には、すべてのデザインで利用可能な新しいテンプレートが含まれています。

Home テンプレート:

- 下部進捗バー付きバナー
- 上部進捗バー付きバナー
- インジケーター付きダッシュボード

List テンプレート:

- 複数のレイアウト付きカード
- ユーザーカード

Menu テンプレート:

- 背景画像付きダークメニュー
- ダークメニュー
- 背景画像付きメニュー

Login テンプレート:

- ログイン (ダーク)
- 透過画像付きログイン
- 透過画像付きログイン (ダーク)

Other テンプレート:

- カレンダー (Android)
- アニメーション付きオンボーディング
- ストーリー

Stencil ライブラリ

SmartDevicesPlus には、定義済みテンプレートの他にも多様な定義済み Stencil が用意されています。Stencil には、画面のデザインコンポーネントを再利用できる柔軟性があります。

Stencil は GeneXus のオブジェクトで、デザイナーが GeneXus アプリケーションのデザインシステムを定義しやすくするために作成されたものです。詳細については、Stencil に関する GeneXus ドキュメントを参照してください。

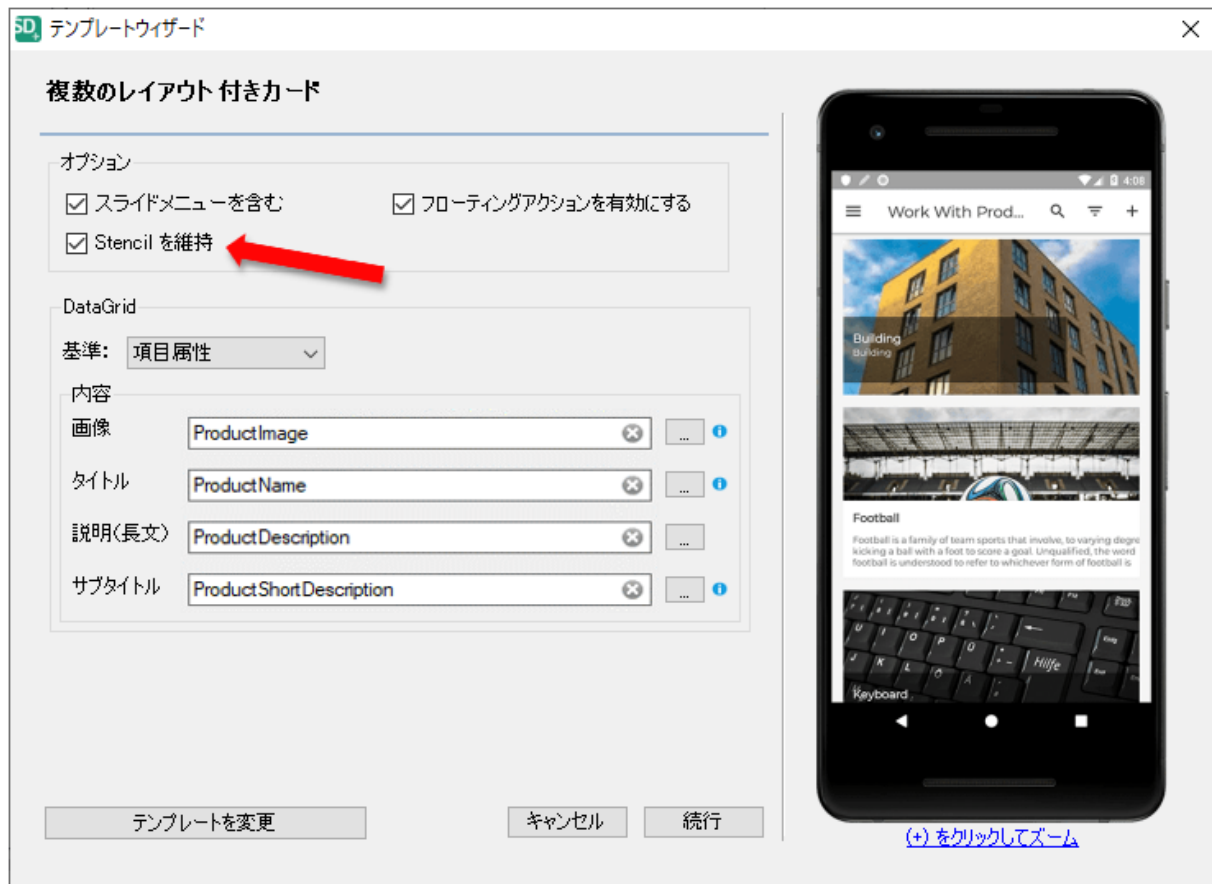
テンプレートと新しい Stencil を組み合わせて画面をカスタマイズできます。ニーズに合わせてより柔軟に画面を変更することが可能です。

SmartDevicesPlus テンプレート + Stencil:

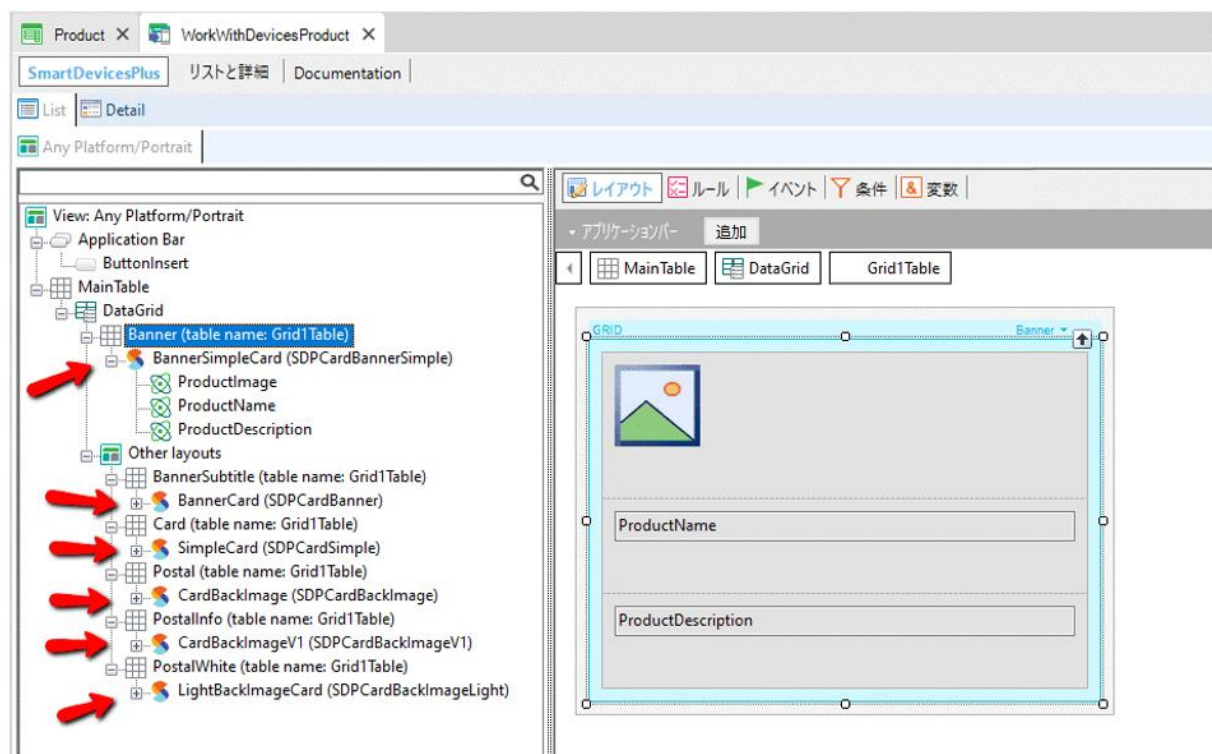
ほとんどの SmartDevicesPlus テンプレートには、少なくとも 1 つの Stencil が含まれています。

テンプレートの適用時に、作成されるパネルで Stencil を維持するか削除するか決定できます。Stencil を維持する場合、作成されるパネルにはその Stencil が含まれます。つまり、パネルで Stencil が適用されている部分を変更するときは、その変更を Stencil に対して直接実行する必要があります。テンプレートの適用後に Stencil を削除する場合、作成されるパネルは Stencil との接続が失われ、パネルのレイアウトに直接変更を加えることが可能になります。

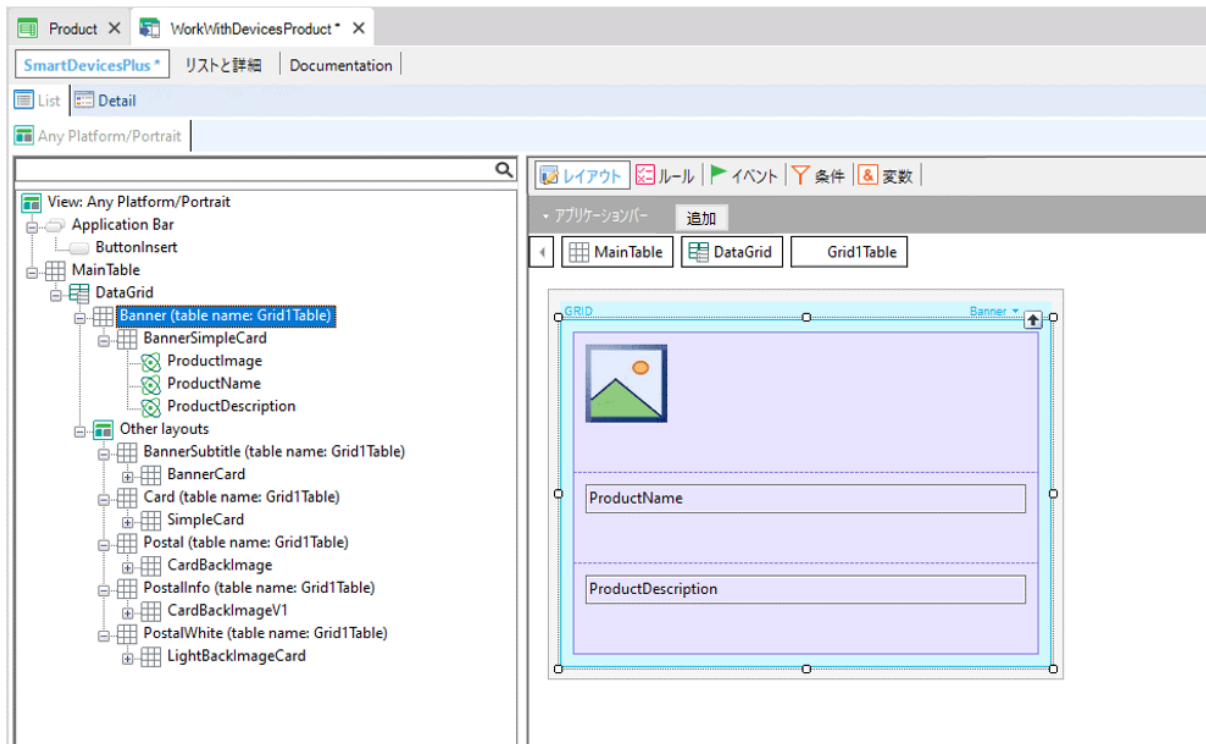
ユーザーは Stencil をいつでも変更、追加、または削除できますが、こうした操作によってパネルとテンプレートの接続が失われることに留意してください。



Stencil を維持する場合:



Stencil を削除する場合:

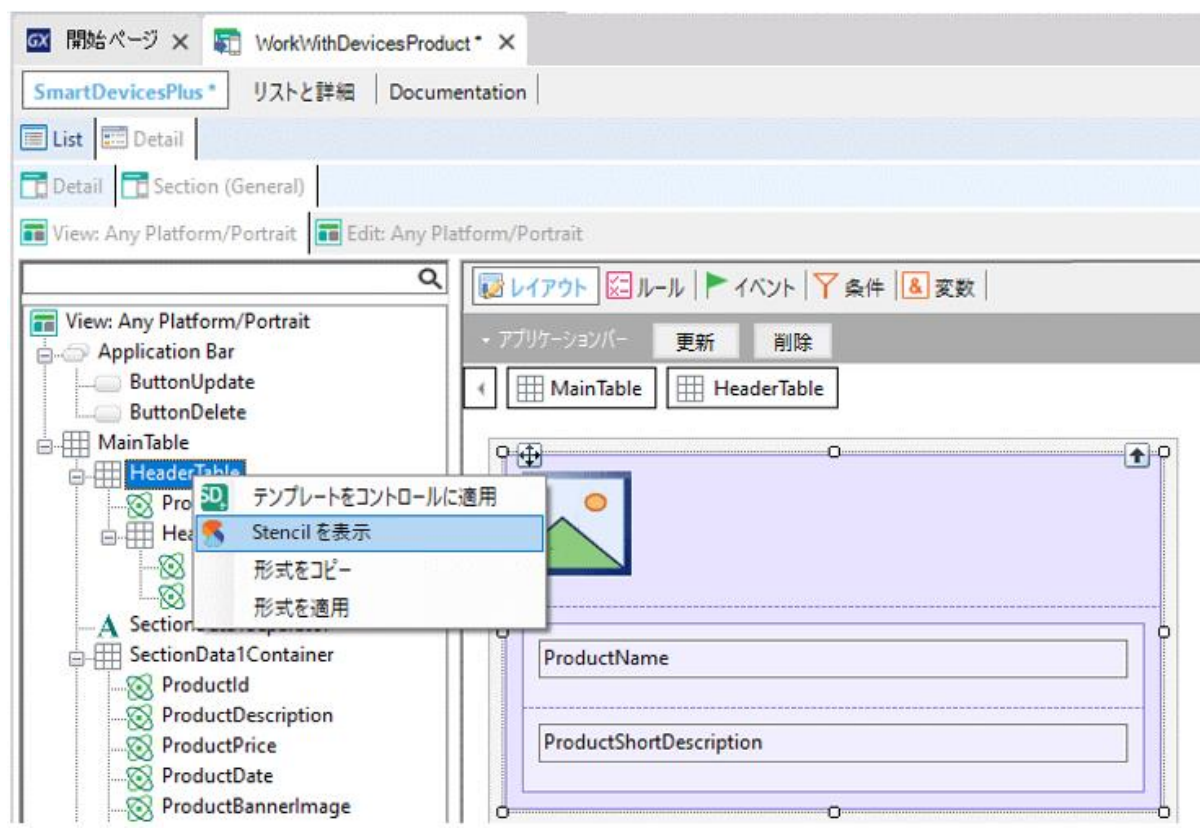


スタンドアロン:

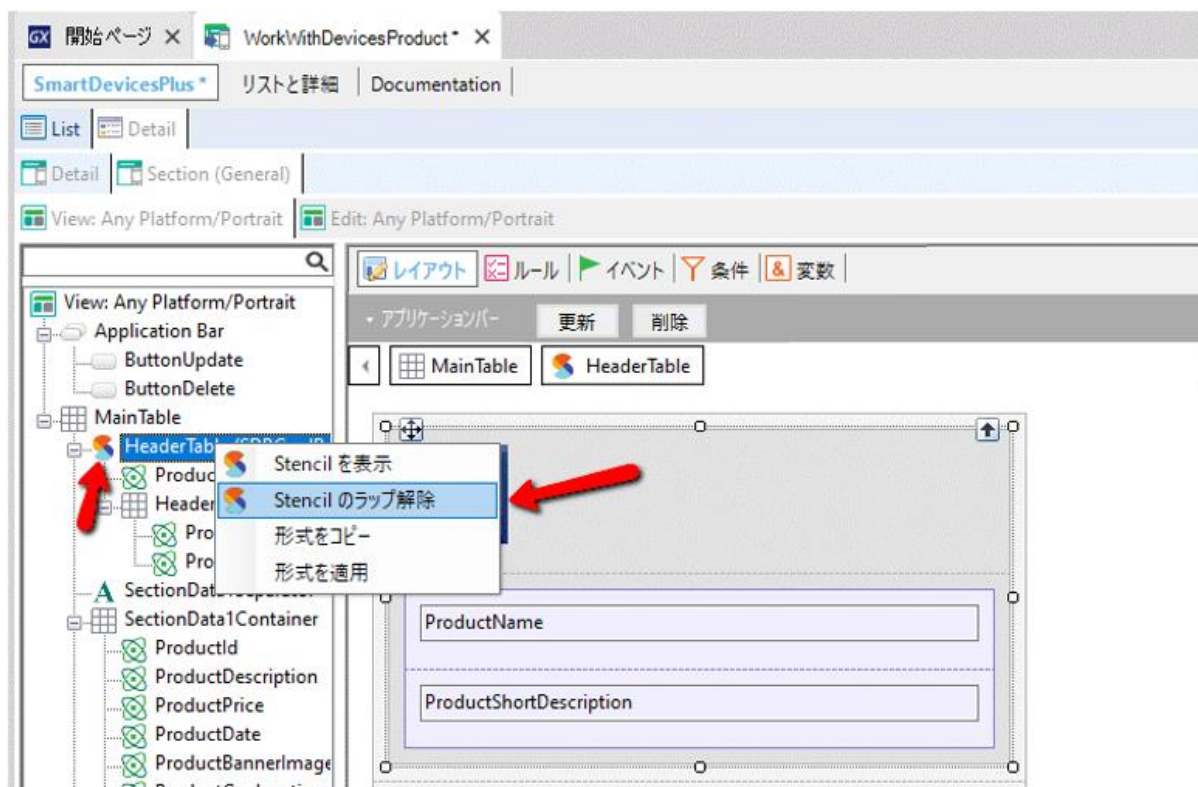
Stencil はユーザーが直接使用できます。

Stencil を適用する場合は、SmartDevicesPlus の階層エディタープロパティを使用する方法が最も簡単です。

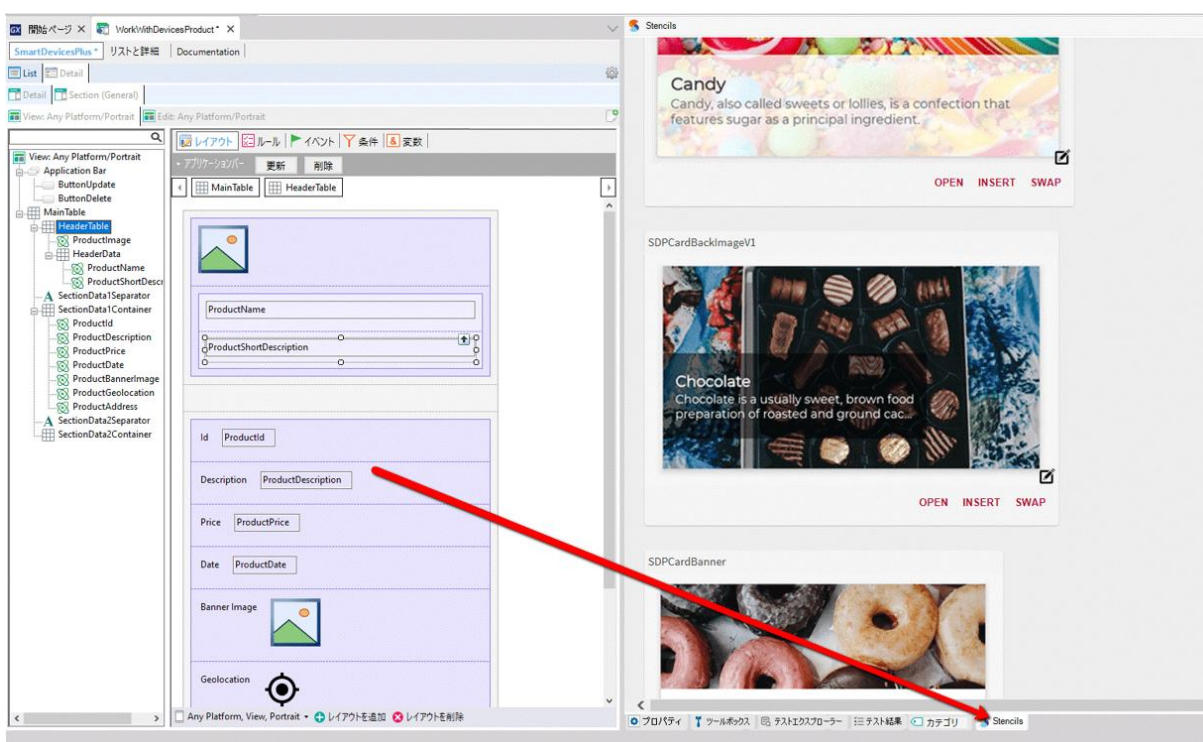
Stencil を適用するには、階層エディターで任意のテーブルを右クリックし、[Stencil を表示] を選択します。



適用済みの Stencil を削除するには、階層エディターで任意のテーブルを右クリックし、[Stencil のラップ解除] を選択します。



Stencil は、SmartDevicesPlus 階層エディターなしでも使用できます。
詳細については、GeneXus ドキュメントを参照してください。



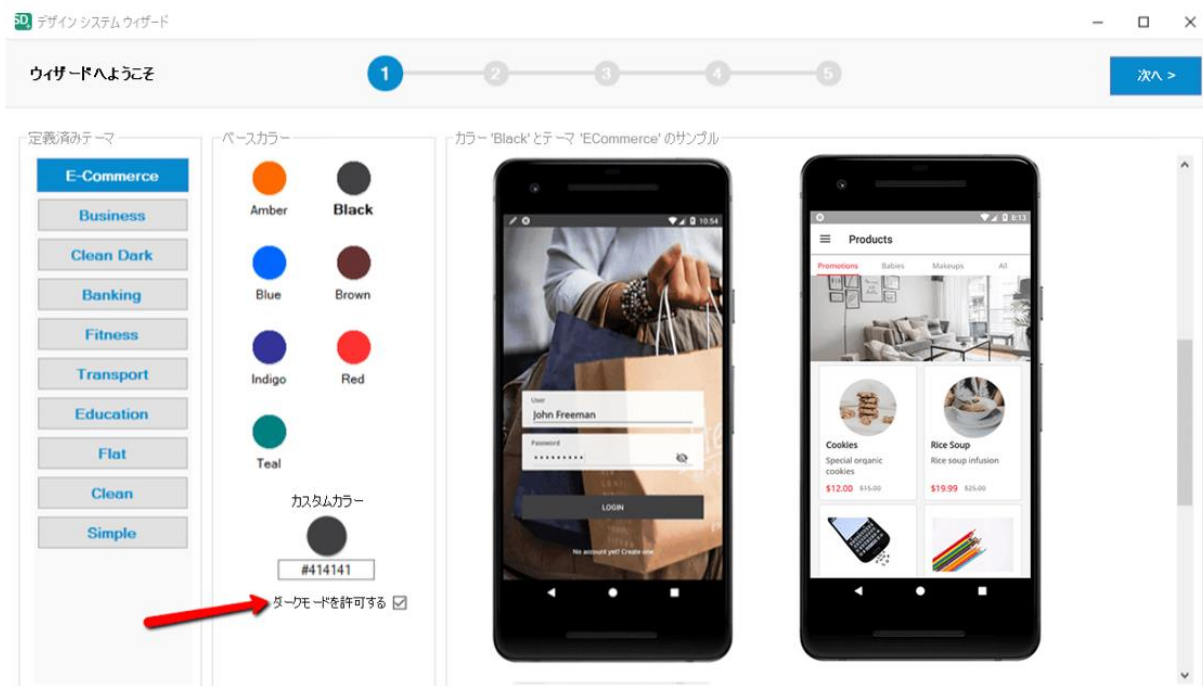
新しいウィザードオプション

SmartDevicesPlus 6 では、デザイン システム ウィザードに新しい機能が追加されました。

[ダークモードを許可する]:

このオプションは、デザイン システム ウィザードのステップ 1 にあります。

ダークモード機能をオンにします。



[オンボーディングを有効にする]:

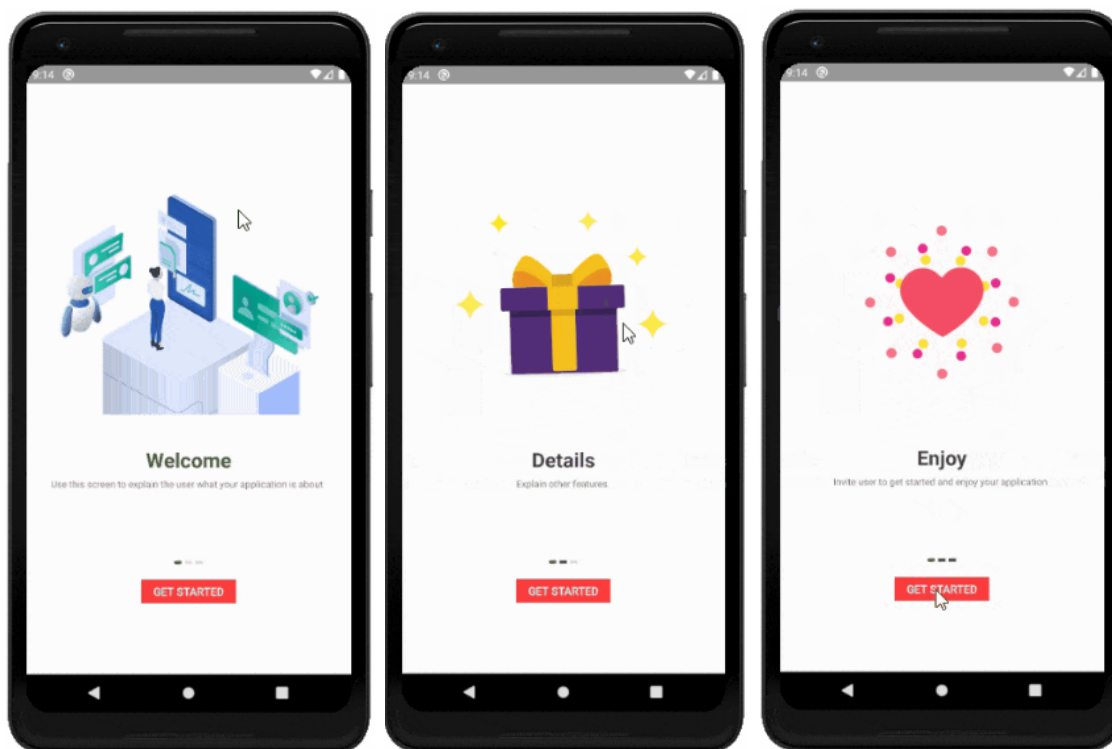
このオプションは、デザイン システム ウィザードのステップ 3 にあります。



有効にすると、サンプルのオンボーディングパネルが作成されます。これは後で変更することができます。

オンボーディングパネルは、アプリケーションを初めて開いたときにのみ表示されるパネルです。ユーザーがこのパネルを閉じると、開発者が動作を変更するまで再表示されません。

例: アプリケーションを初めて開いたとき:



[アプリケーションバー]:

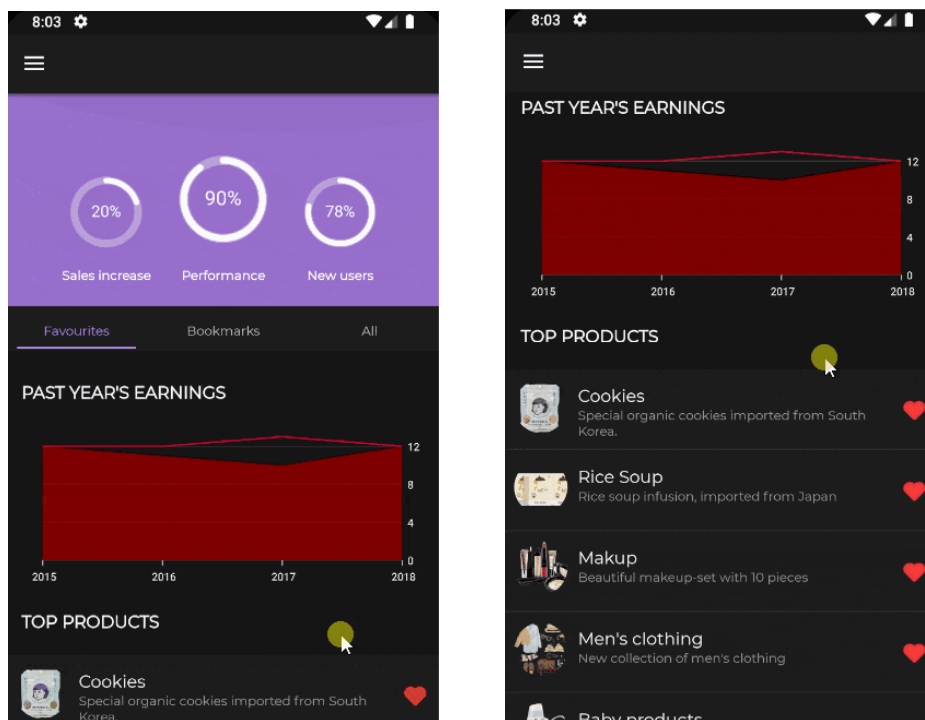
このオプションは、デザイン システム ウィザードのステップ 3 にあります。

開発者は、ホームパネルでのアプリケーションバーの動作を定義できます。



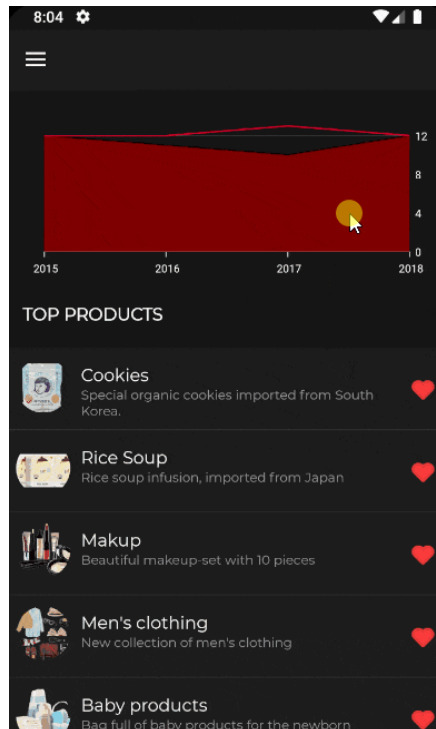
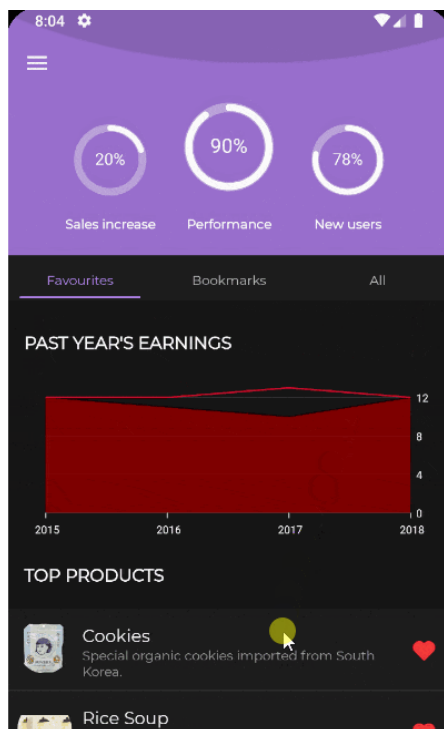
[常に表示する]

アプリケーションバーは常に表示されます。



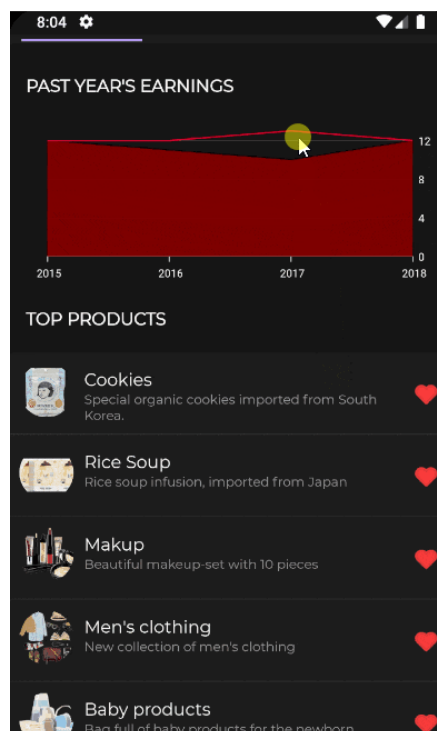
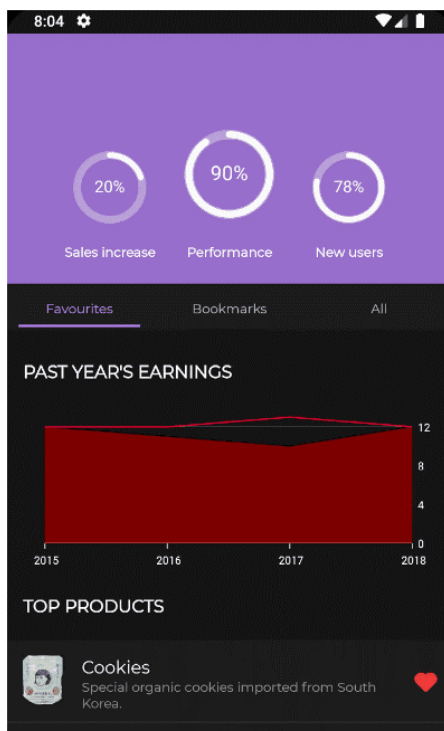
[非表示にする]

アプリケーションバーは起動時に表示されませんが、ユーザーがスクロールすると表示されます。



[バーなし]

アプリケーションバーは表示されません。



デザインの表示と編集:

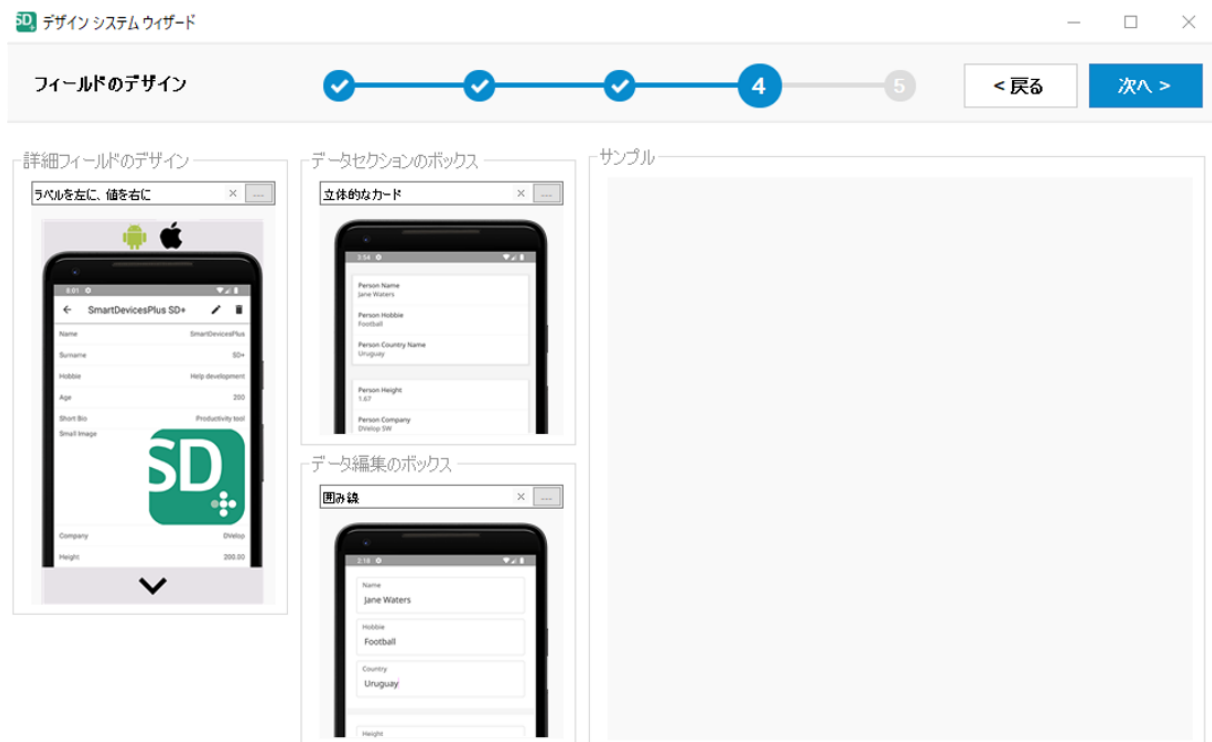
表示パネルや詳細パネルの外観と操作感をカスタマイズできるステップが新たに追加されました。

ユーザーは以下をカスタマイズできます:

- [詳細フィールドのデザイン]: フィールドのラベルの表示方法を決定します。
- [データセクションのボックス]: セクションデータの表示方法を定義します。

データセクションは、1 つ以上のフィールドからなるグループです。

- [データ編集のボックス]: 編集モードのパネルにおける個々のフィールドの表示方法を定義します。

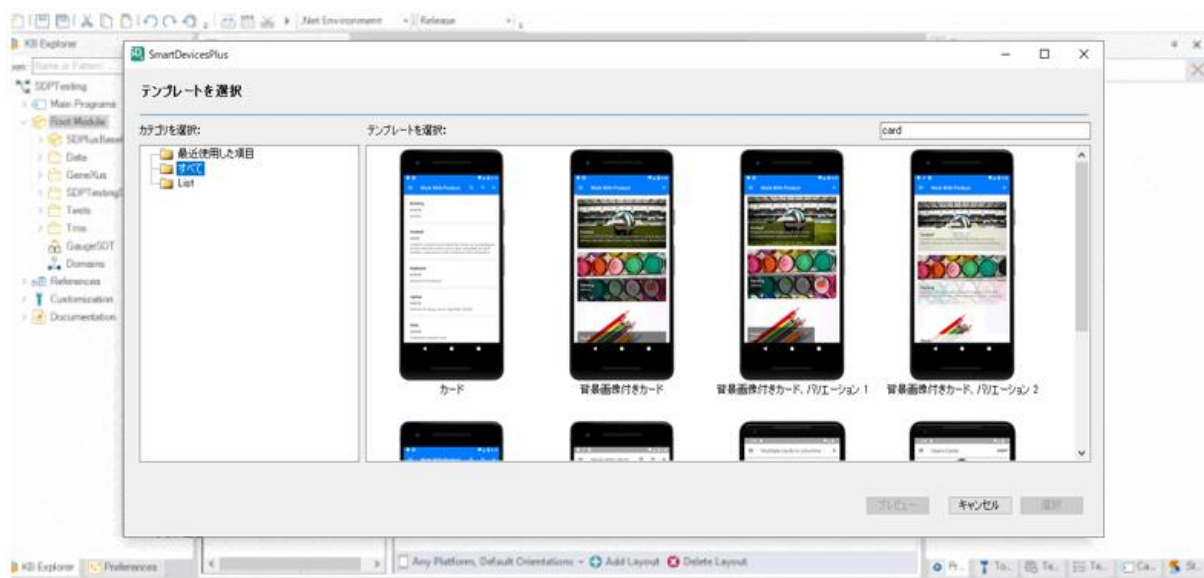


エディターの機能

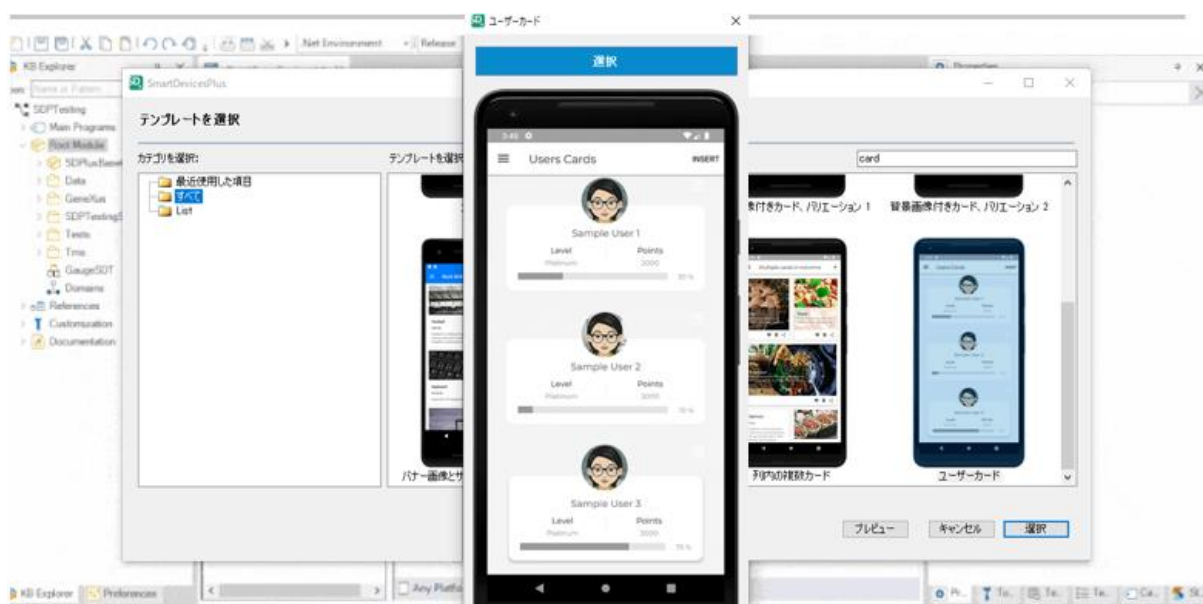
SmartDevicesPlus 6 では、階層エディターとテンプレートウィザードに以下の機能が導入されました。

テンプレートセクター:

テンプレートセクターのダイアログに検索ボックスが追加されました。SmartDevicesPlusテンプレートライブラリ内を検索し、テンプレートを簡単に見つけることができます。



また、テンプレートセクターのダイアログでプレビューをダブルクリックして、プレビュー画像をズームできるようになりました。



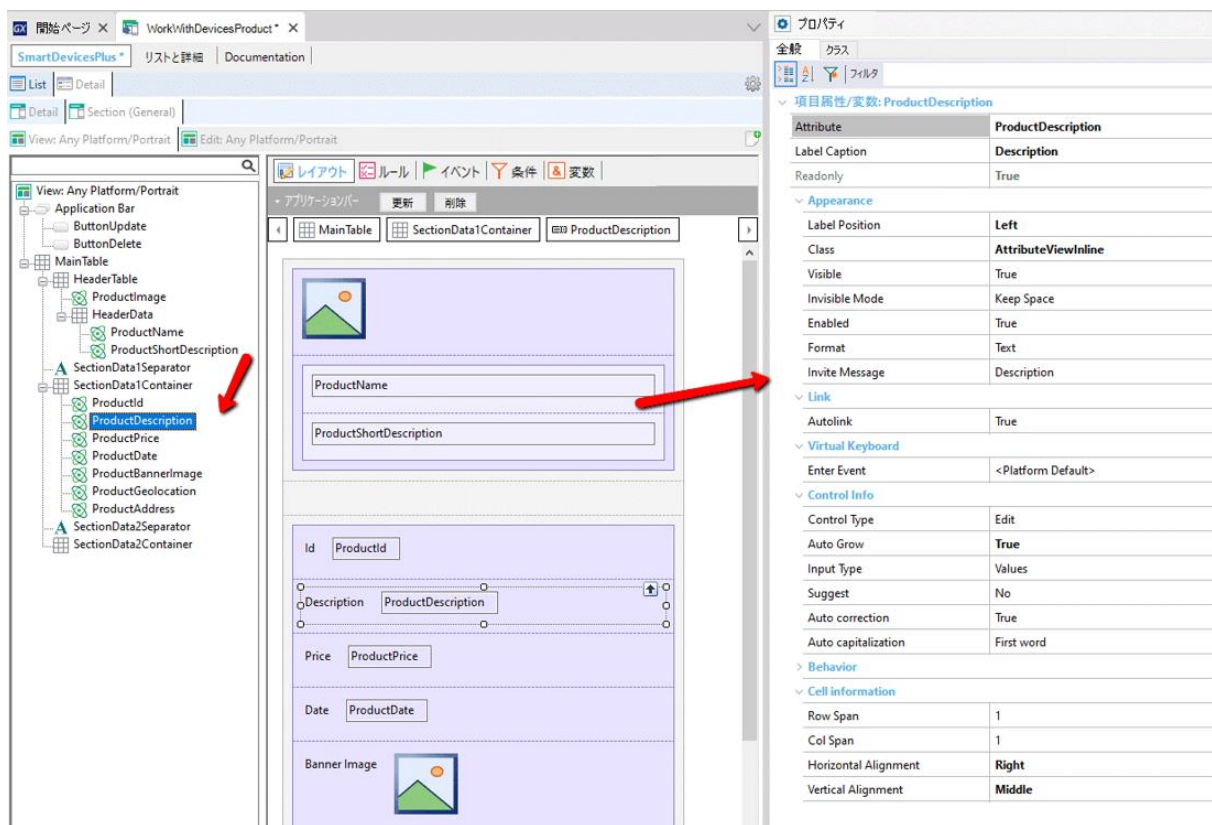
階層エディター:

形式をコピー

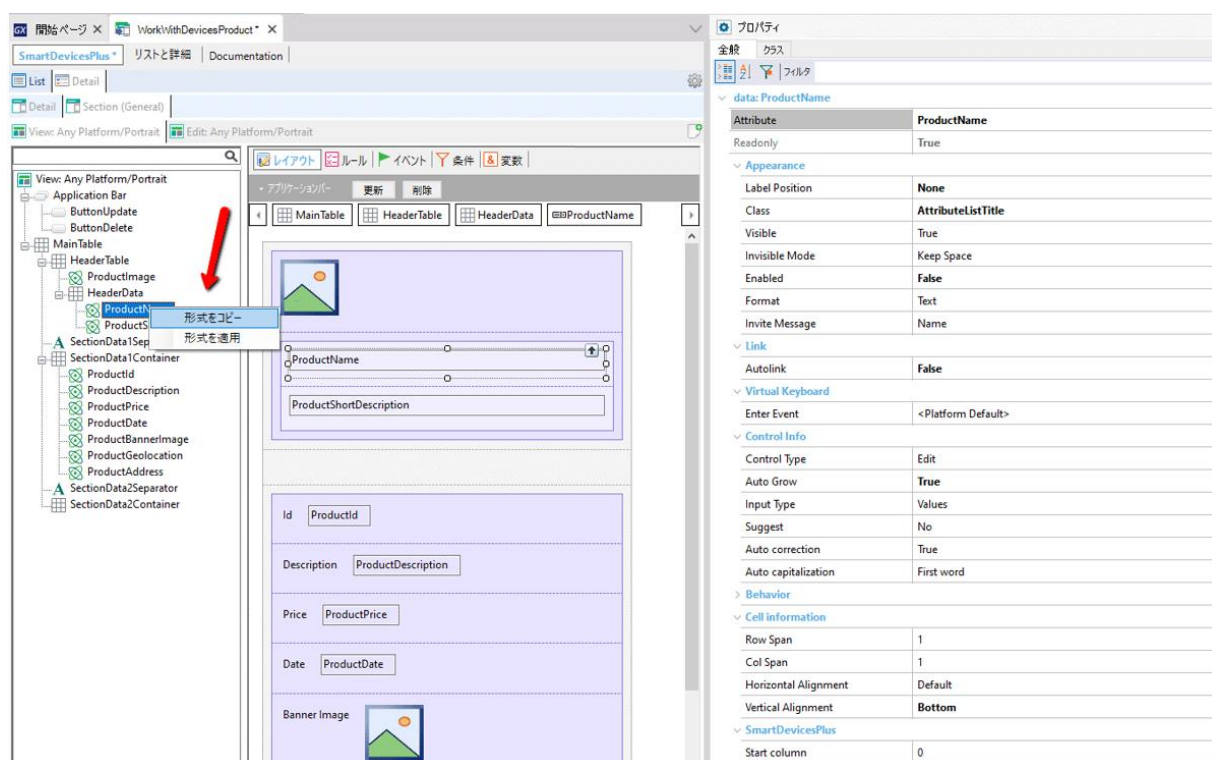
レイアウトコンポーネント (項目属性、変数、テキストブロック、テーブルなど) のプロパティをコピーして、他のコンポーネントに適用できます。

例:

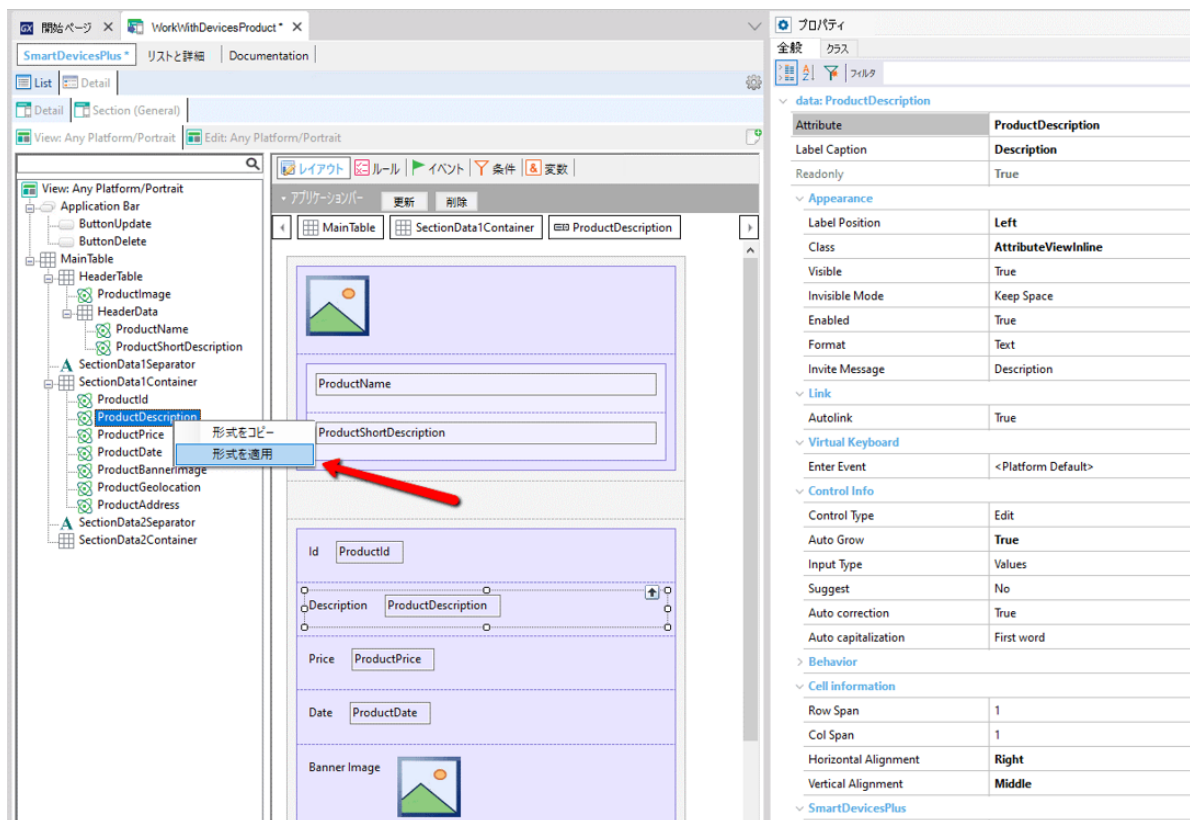
「ProductDescription」項目属性の形式をヘッダーセクションの「ProductName」項目属性に適用されている形式で上書きするとします。



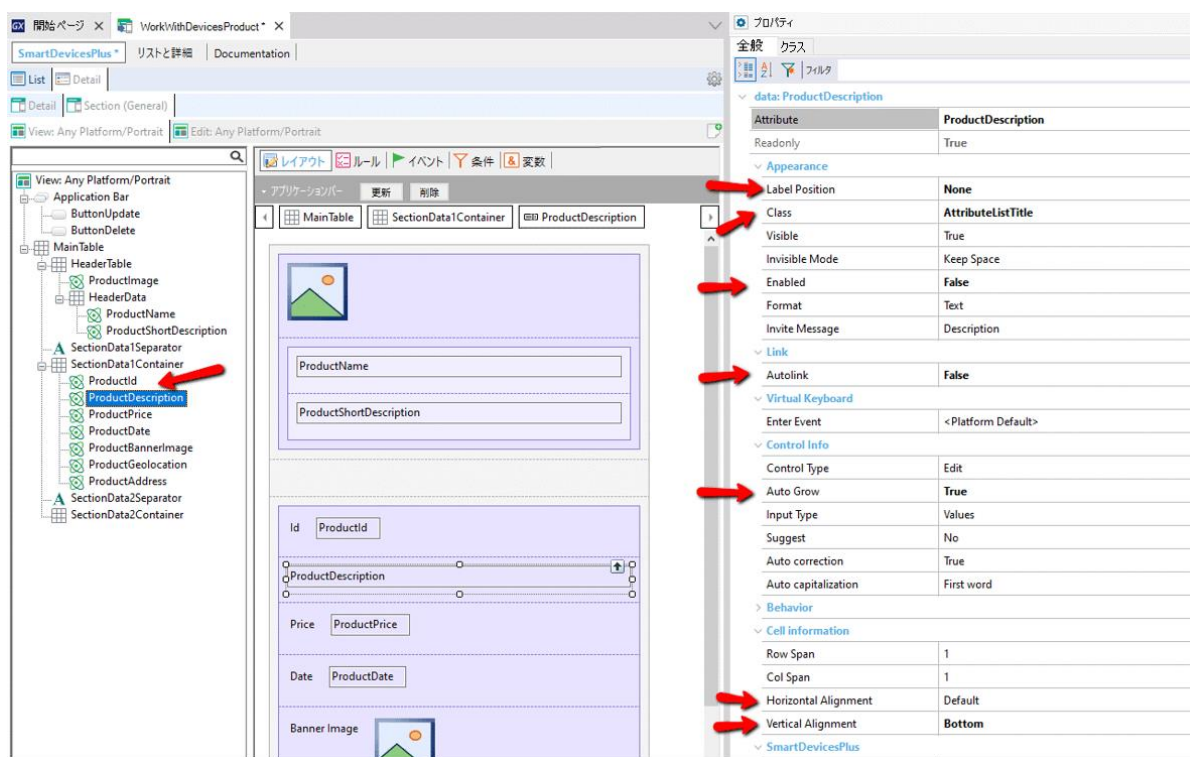
階層エディターで「ProductName」ソース項目属性を右クリックし、
[形式をコピー] を選択します。



次に、「ProductDescription」を右クリックし、[形式を適用]を選択します。



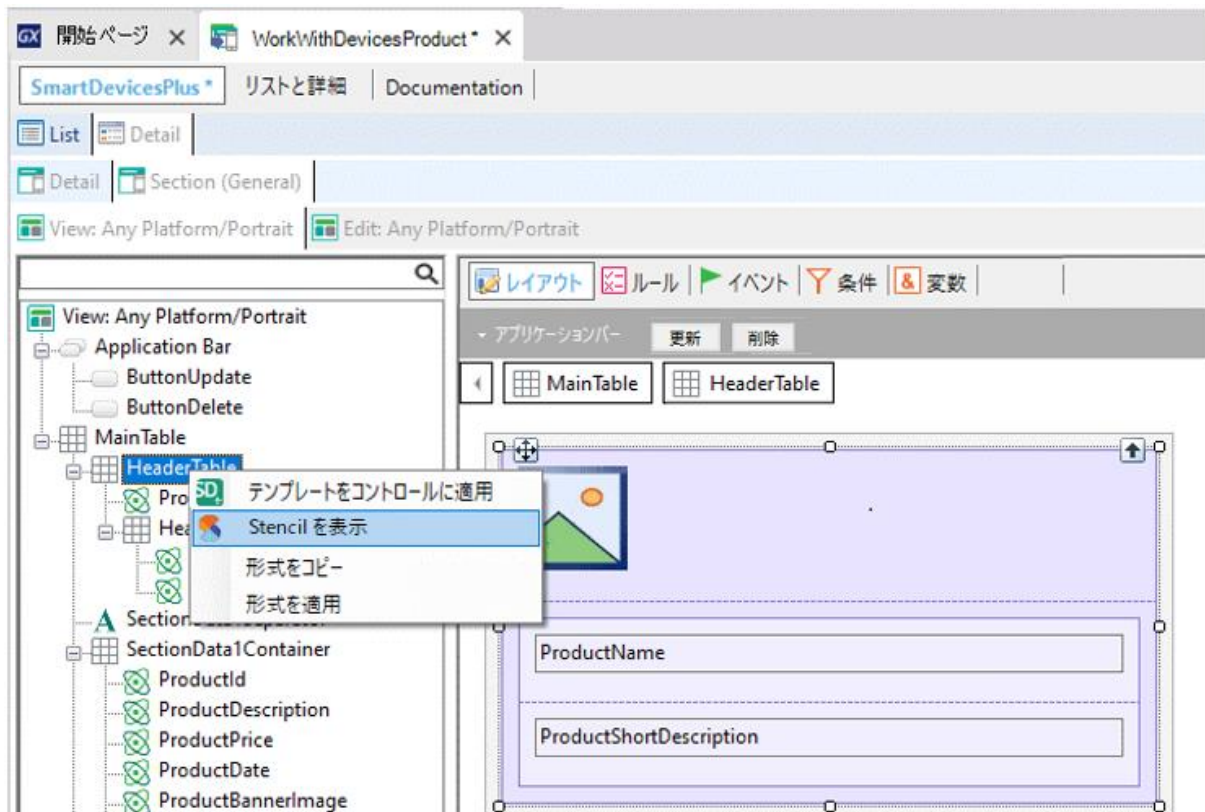
「ProductDescription」にすべての形式プロパティが適用されます。



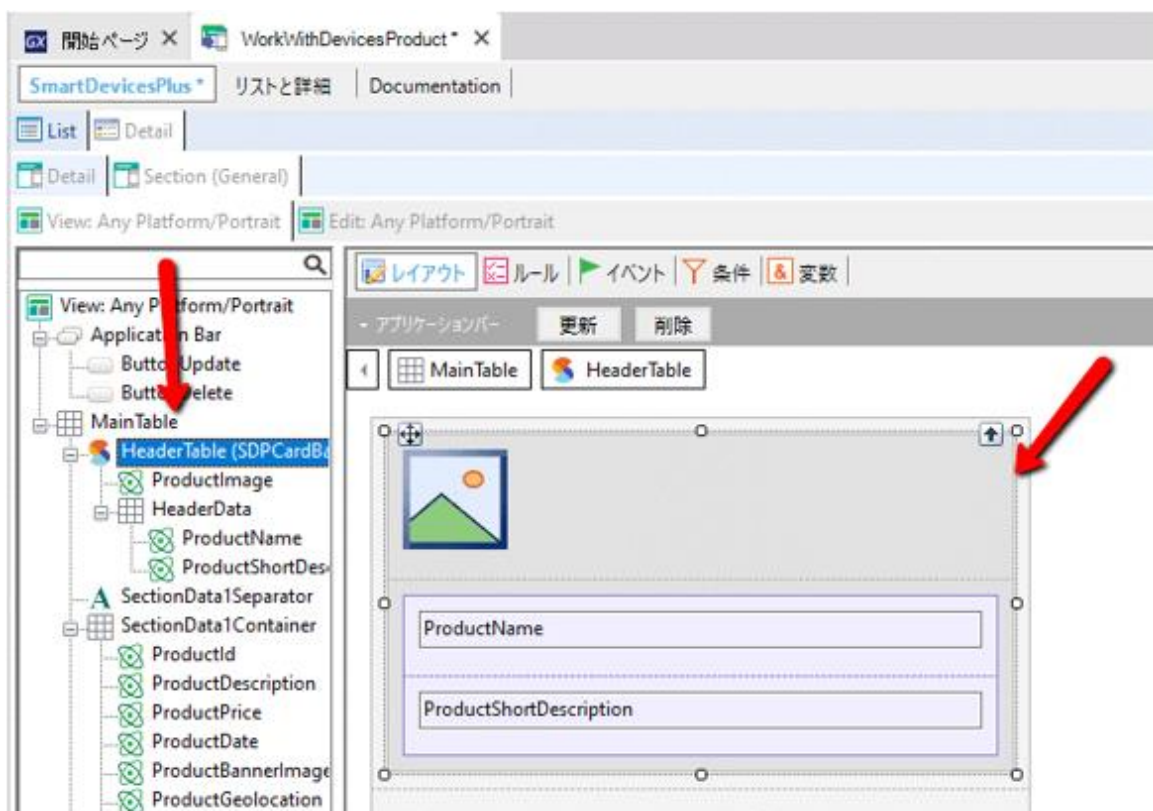
Stencil の表示/ラップ解除

階層エディターを使用して、レイアウトで Stencil を適用または削除できます。

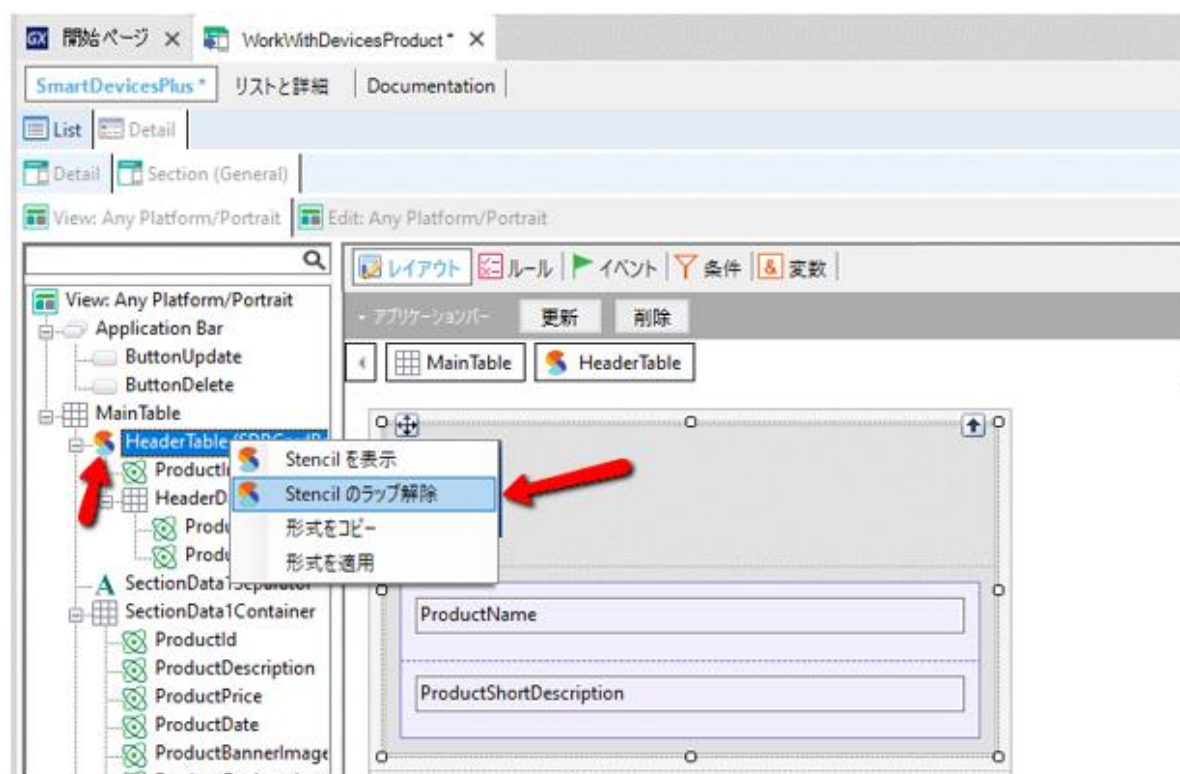
Stencil を適用するには、階層エディターで任意のテーブルを右クリックし、[Stencil を表示] を選択します。



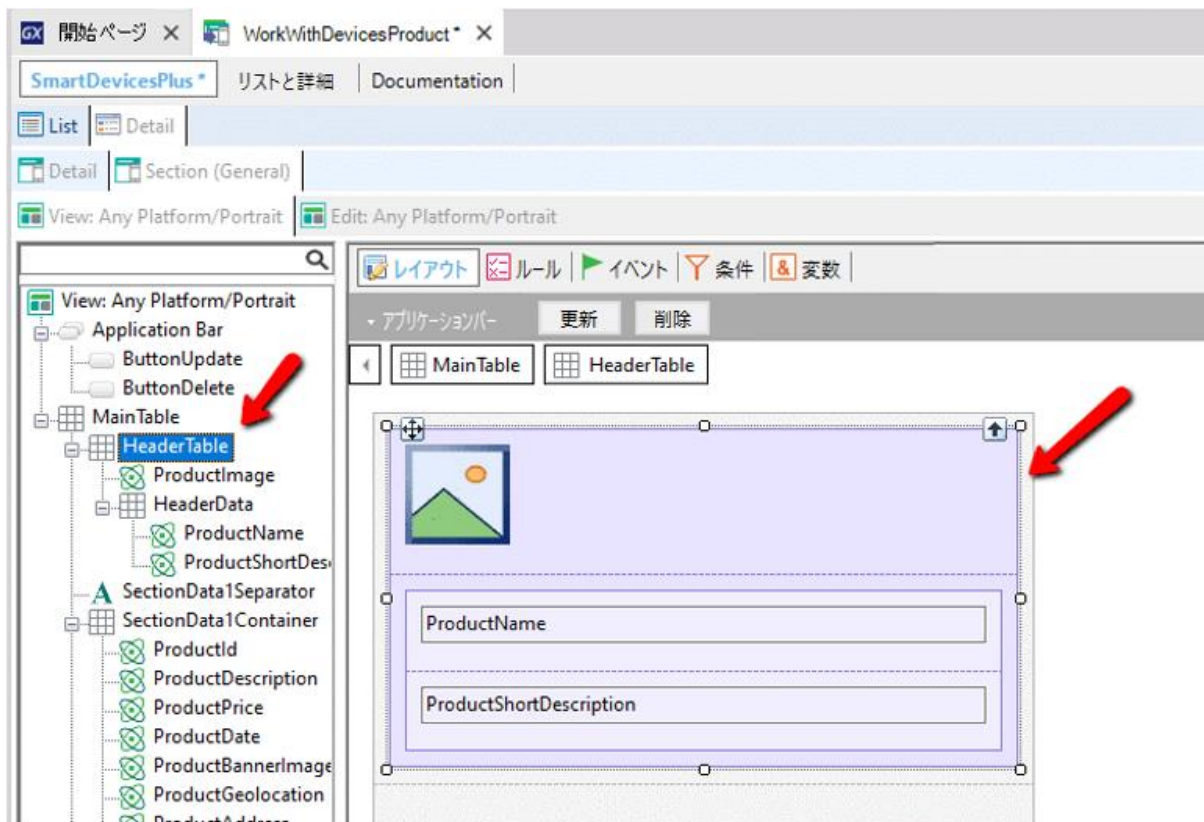
適用された Stencil は階層エディターに表示されます。



適用済みの Stencil を削除するには、階層エディターで任意のテーブルを右クリックし、[Stencil のラップ解除] を選択します。



Stencil が解除されます。



メニューの機能

[Visible condition]:

SmartDevicesPlus プロパティを使用して、アプリケーションのメニューに追加されるパネルに、「Visible condition」という名前の新しいプロパティが追加されました。

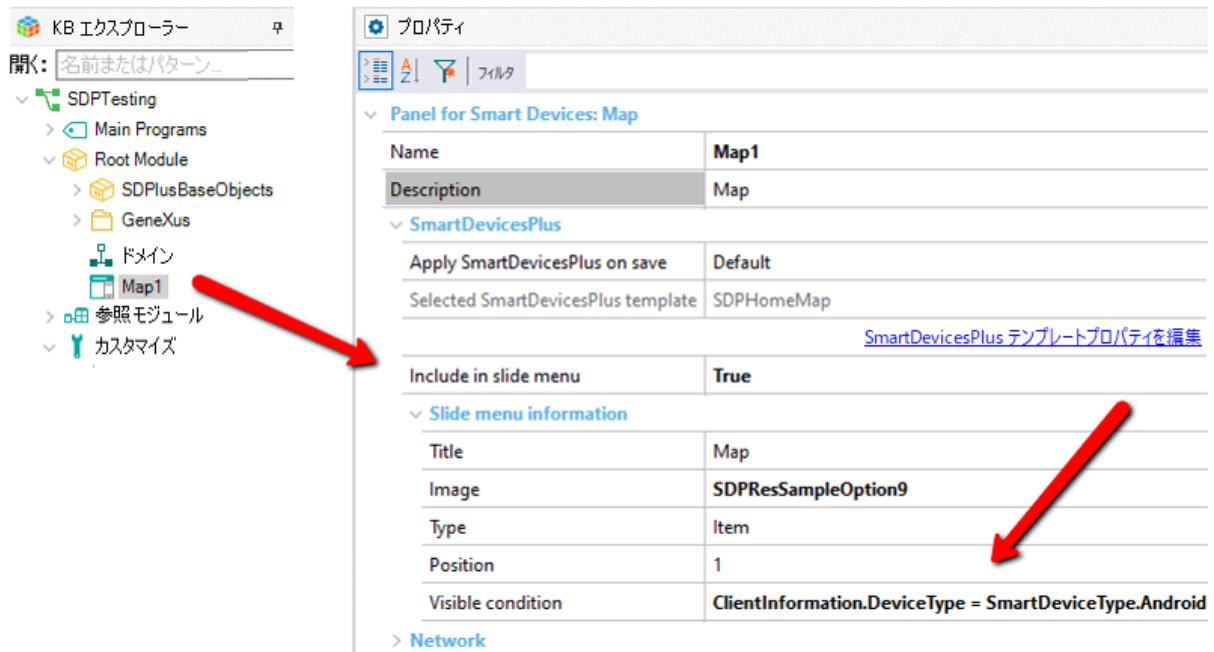
このプロパティを使用すると、メニューオプションの表示/非表示の評価に必要な条件を定義できます。

GeneXus データプロバイダー構文と互換性のある任意のコードを使用して、現在の日時と比較したり、プロシーチャーを呼び出して値を評価したりといったことが、可能です。

例:

Android プラットフォームの場合のみ表示させたい場合は、以下のような条件を入力します:

`ClientInformation.DeviceType = SmartDeviceType.Android`



新しい API 機能

SmartDevicesPlusUtil

さらに多くのオプションが SmartDevicesPlusUtils に追加されました

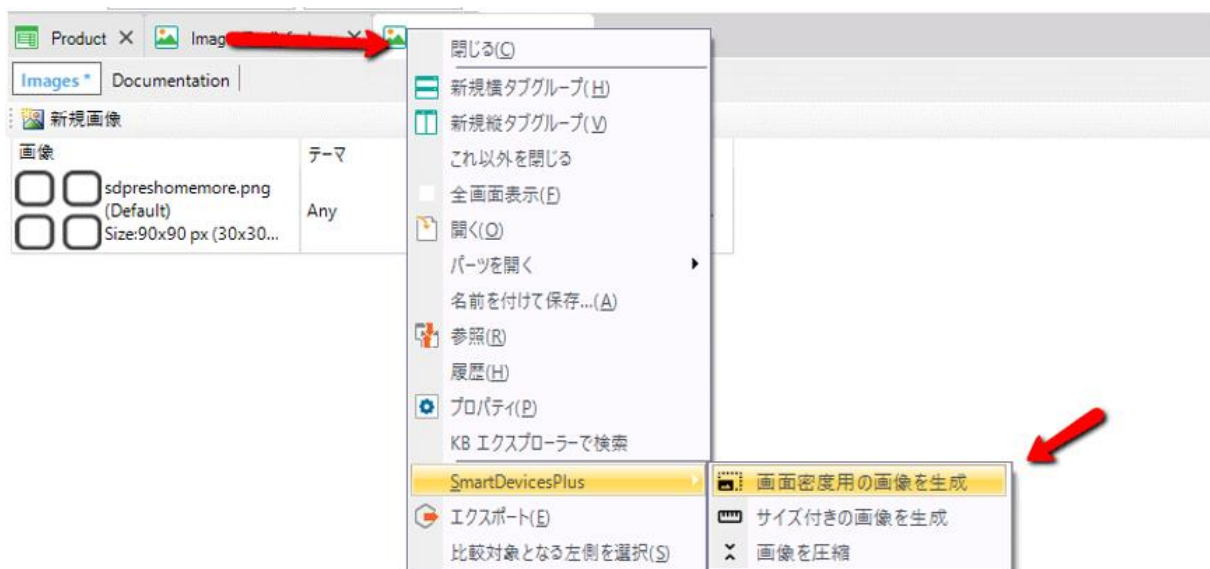
- `GetPixelsFromDips`: 現在のデバイス画面密度を考慮したうえで、サイズを dip 単位からピクセル単位に変換します。
- `GetDipsFromPixels`: 現在のデバイス画面密度を考慮したうえで、サイズをピクセル単位から dip 単位に変換します。
- `GetScreenWidth`: 現在のデバイス画面の幅をピクセル単位で返します。

- GetScreenHeight: 現在のデバイス画面の高さをピクセル単位で返します。

リソースユーティリティ

SmartDevicesPlus には、GeneXus でさまざまな画面密度を持つ.png 画像の操作を簡素化するツールバーがあります。

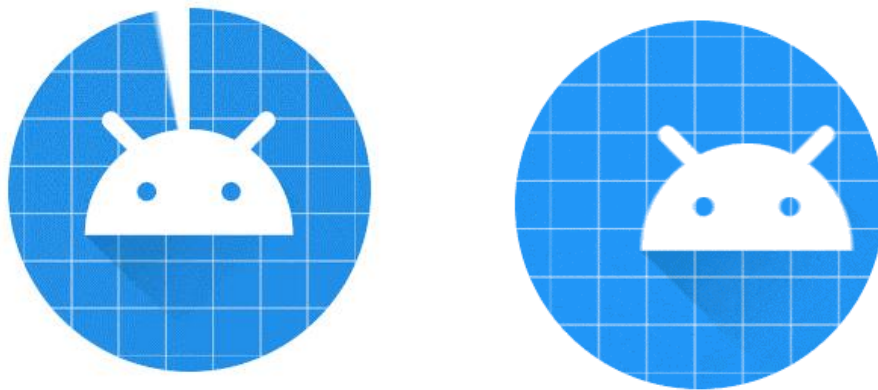
このオプションを利用するには、画像を右クリックする必要があります:



- [画面密度用の画像を生成]: このオプションは、汎用密度 (ldpi、mdpi、hdpi、xhdpi、および xxhdpi) のうち、まだ生成されていないものを生成して、すべての汎用密度の画像を生成します。
- [サイズ付きの画像を生成]: このオプションは、すべての汎用密度 (ldpi、mdpi、hdpi、xhdpi、および xxhdpi) の画像を、ユーザーが dips で指定したサイズで、生成します。
- [画像を圧縮]: 画像の解像度は損なわずに、画像を圧縮します。
pngquant library を使用してこの処理が行われます。

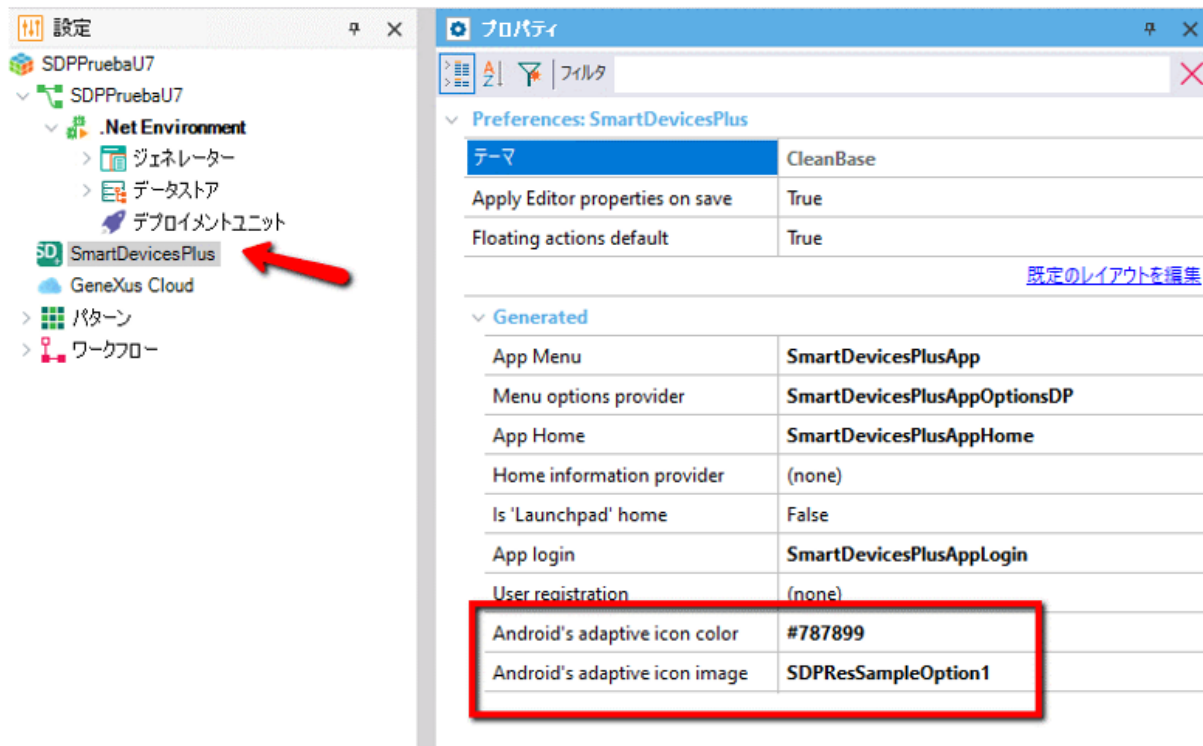
Android のアダプティブアイコン

Android のアダプティブアイコンを使用できるようにする新しいプロパティが SmartDevicesPlus 設定に追加されました。



アダプティブアイコンを有効にするには、次のプロパティを定義する必要があります:

- [Android's adaptive icon color]: このプロパティは、アイコンの背景色として使用されます。
- [Android's adaptive icon image]: この画像は、アイコンの前景画像として使用されます。



新しいユーザーコントロール

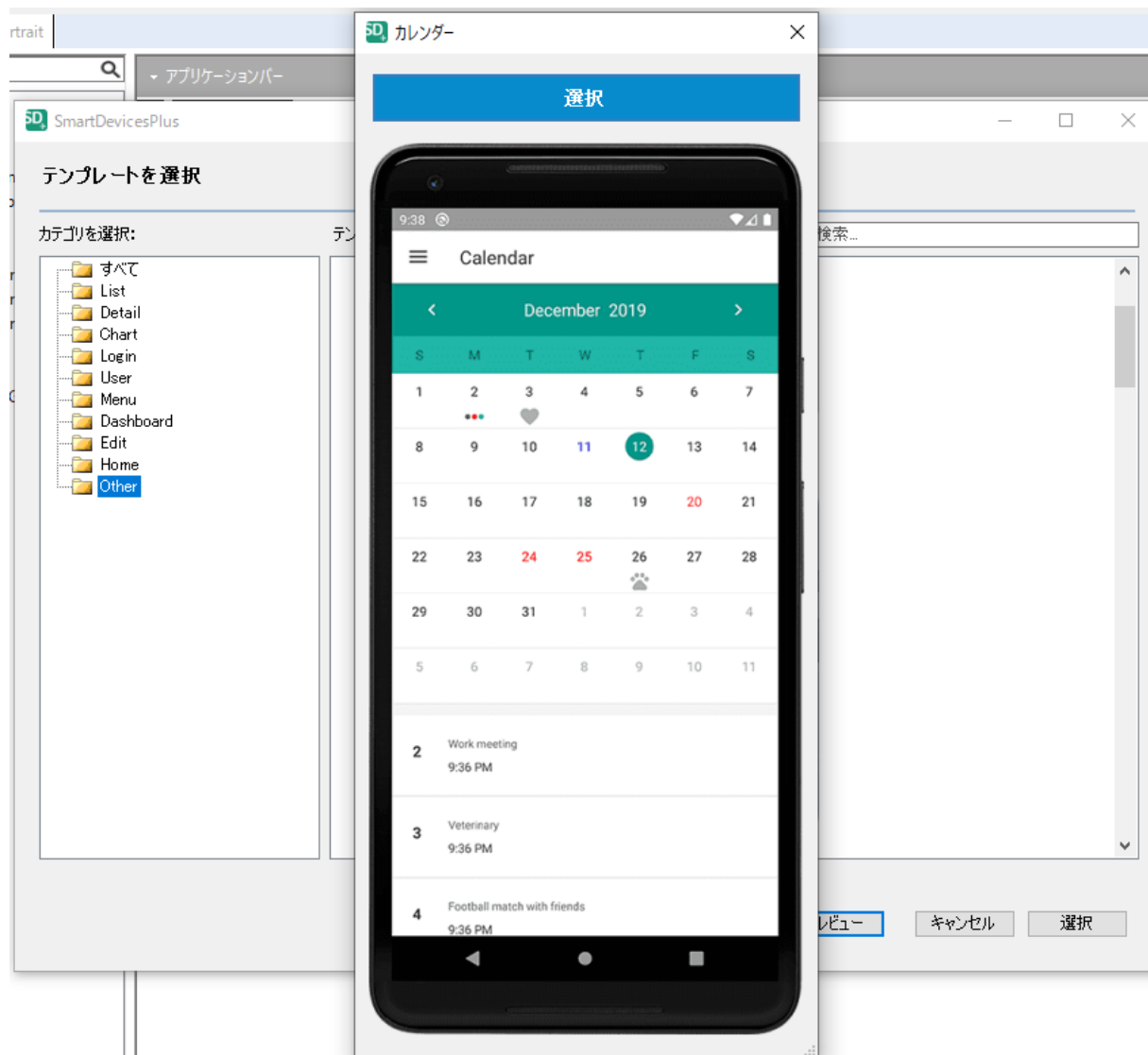
SmartDevicesPlus 6 では、SmartDevicesPlus ユーザー コントロール コレクションに新しいユーザーコントロールが 2 つ追加されました

SDPlusCalendar

SDPlusCalendar は、カレンダーやイベントの機能を提供する画面を作成するために使用できるユーザーコントロールです。

このユーザーコントロールは現在 Android プラットフォームでのみ使用できます。

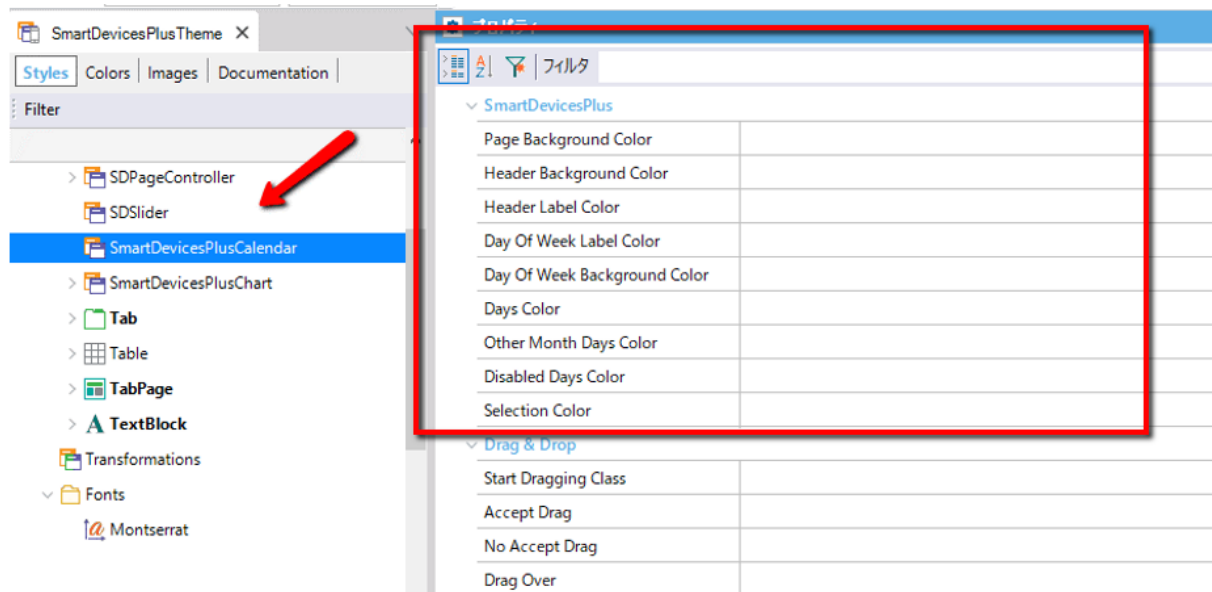
SmartDevicesPlus には、このコントロールを使用する画面を作成およびセットアップできるテンプレートが用意されています。



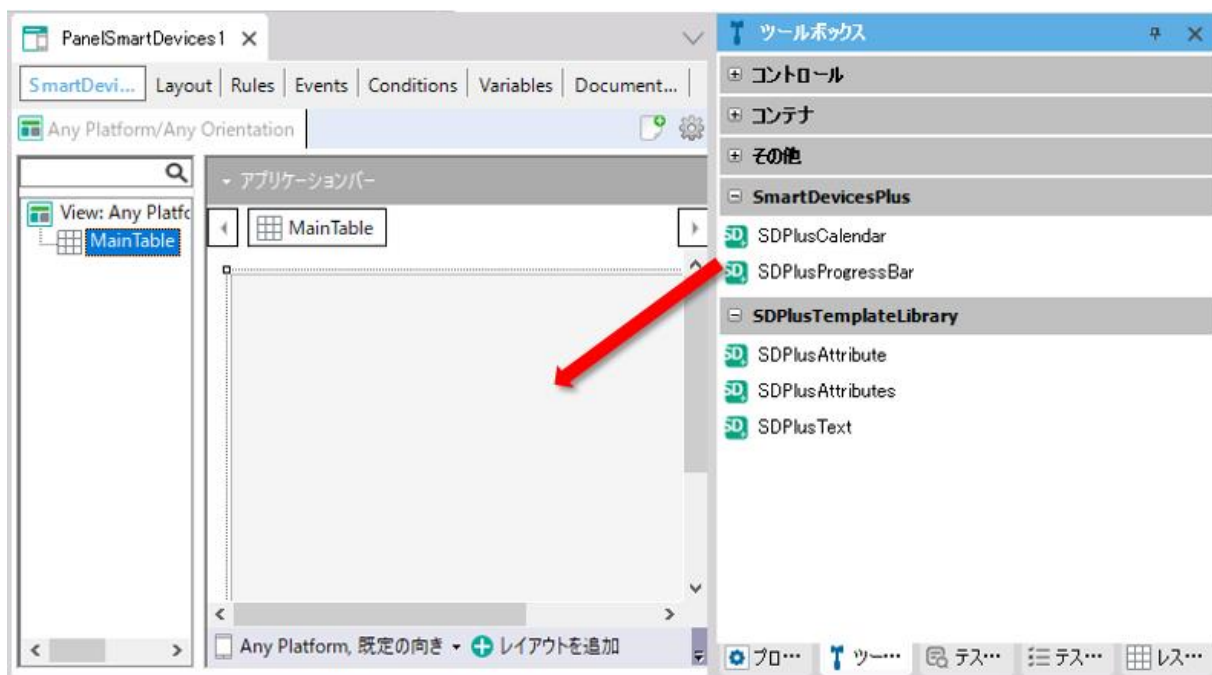
ユーザー コントロール イベントは、SDT の「SDPlusCalendarInfo」および「SDPlusCalendarEntry」を使用して設定されます。

カレンダーでイベントを設定する方法の例は、テンプレートに用意されています。

また、SDPlusCalendarの色と表示スタイルは、カスタムのテーマクラスを使用してカスタマイズできます。



また、このユーザーコントロールは、GeneXus ツールボックスを使用して、すべての SD パネルで使用できます。



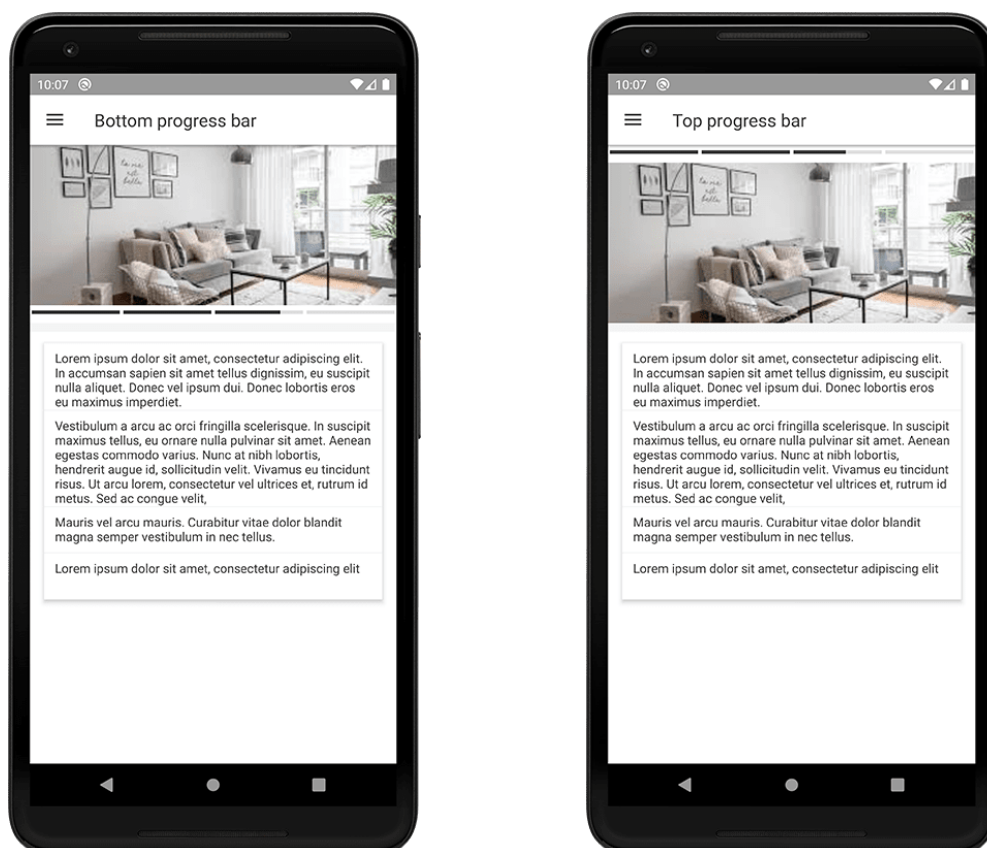
SDPlusProgressBar

SDPlusProgressBar は、時間経過で塗りつぶされる進捗状況バーを持つ画面を作成するために使用できるユーザーコントロールです。

他のコンポーネントと組み合わせることで、優れたユーザーエクスペリエンスを生み出すことができます。

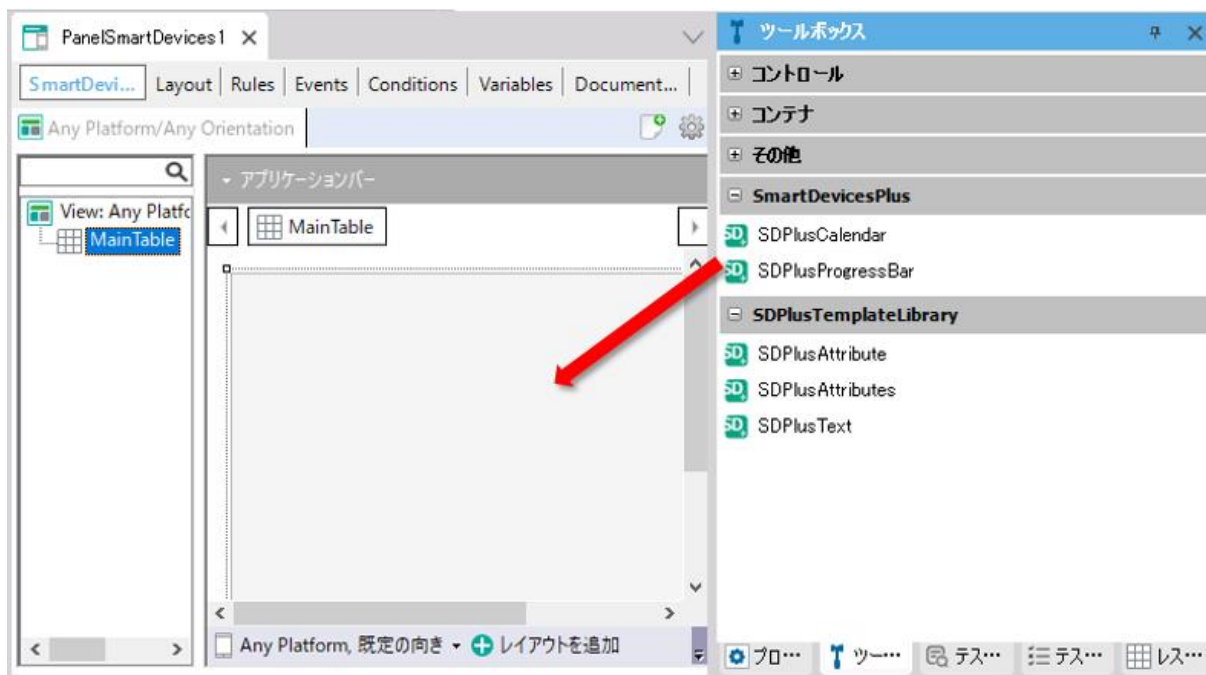


SmartDevicesPlus には、このコントロールを使用する画面を作成およびセットアップできるテンプレートがいくつか用意されています。



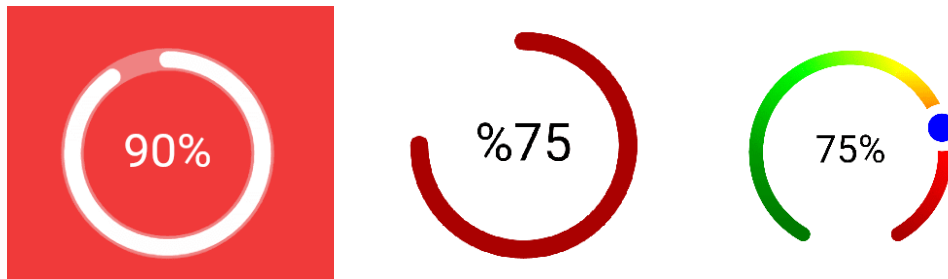


また、このユーザーコントロールは、GeneXus ツールボックスを使用して、すべての SD パネルで使用できます。



ラジアル ゲージ インジケーター

このコントロールでは、進捗状況をラジアルゲージで表示できます。



新しいグラフ

SmartDevicesPlus 6 では、SmartDevicesPlus Charts ユーザーコントロールに重要な変更があります。

統合されたライブラリ

SmartDevicesPlus の以前のバージョンでは、Android プラットフォームと iOS プラットフォームのユーザーコントロールが別々に配布されていました。

つまり、各プラットフォームに合わせて別々のレイアウトを作成し、レイアウトごとに名前は異なるものの同じプロパティを設定する必要があったのです。

SmartDevicesPlus 6 では、単一の統合 Charts ユーザーコントロールが作成され、両方のプラットフォームで動作するようになりました。このため、別々のレイアウトは不要になりました。

この新しいユーザーコントロールは、GeneXus プロパティでは「SD+ Charts」と短縮形で表示されます。

Default Selected Item Layout (none)

▼ Control Info

Control Type	SD+ Charts
Auto Grow	False
Series Type Collection	Area
Zoom Mode	Full Zoom
Trendline	None

Infragistics ライブラリ

新しい SmartDevicesPlus Charts ユーザーコントロールでは、Infragistics ライブラリのインストールは必要ありません。

SD+ テンプレートウィザード

エリア(積層型)

オプション

☒ スライドメニューを含む

ChartGrid (SD+ Charts)

基準: SDT SDTProduct

内容

カテゴリ項目属性 SDTProductName

シリーズ項目属性 項目属性名

SDTProductPrice
SDTProductWeight

シリーズラベル

テンプレートを変更

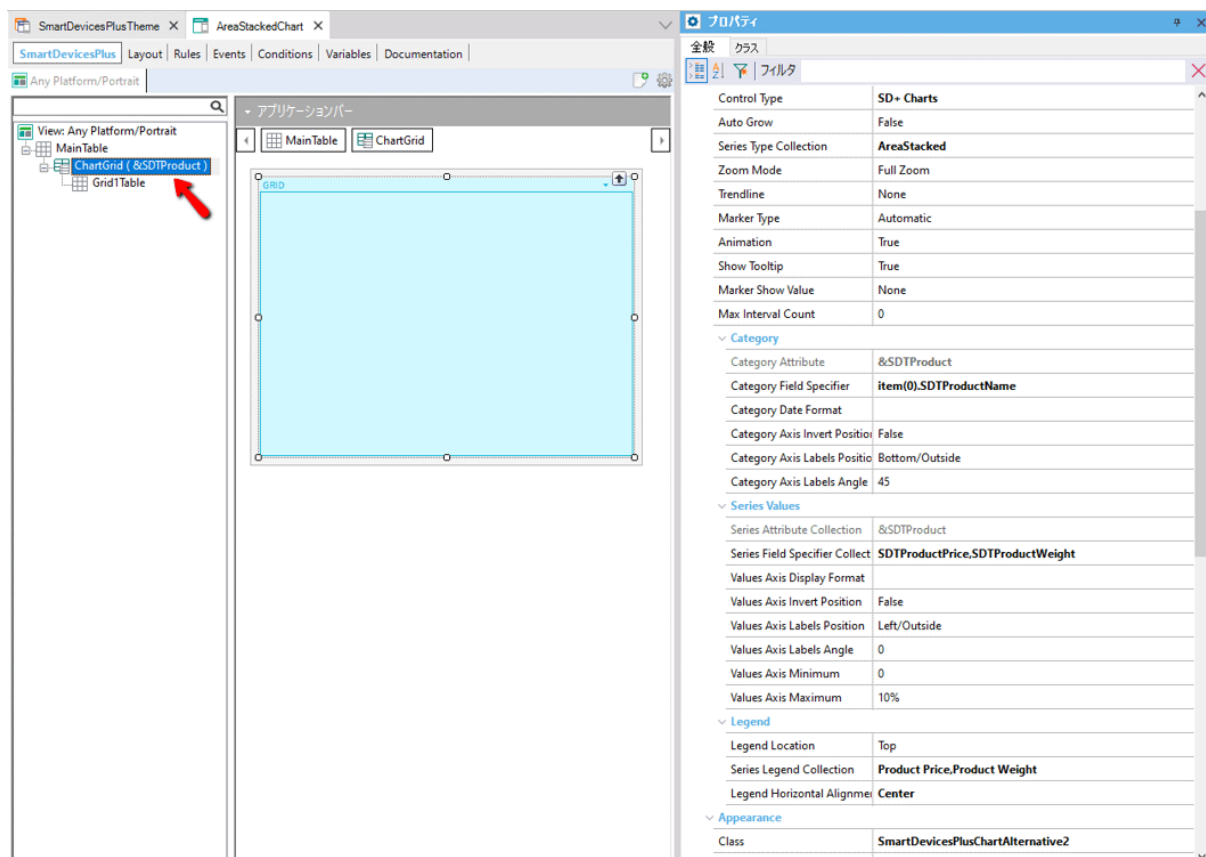
キャンセル

続行

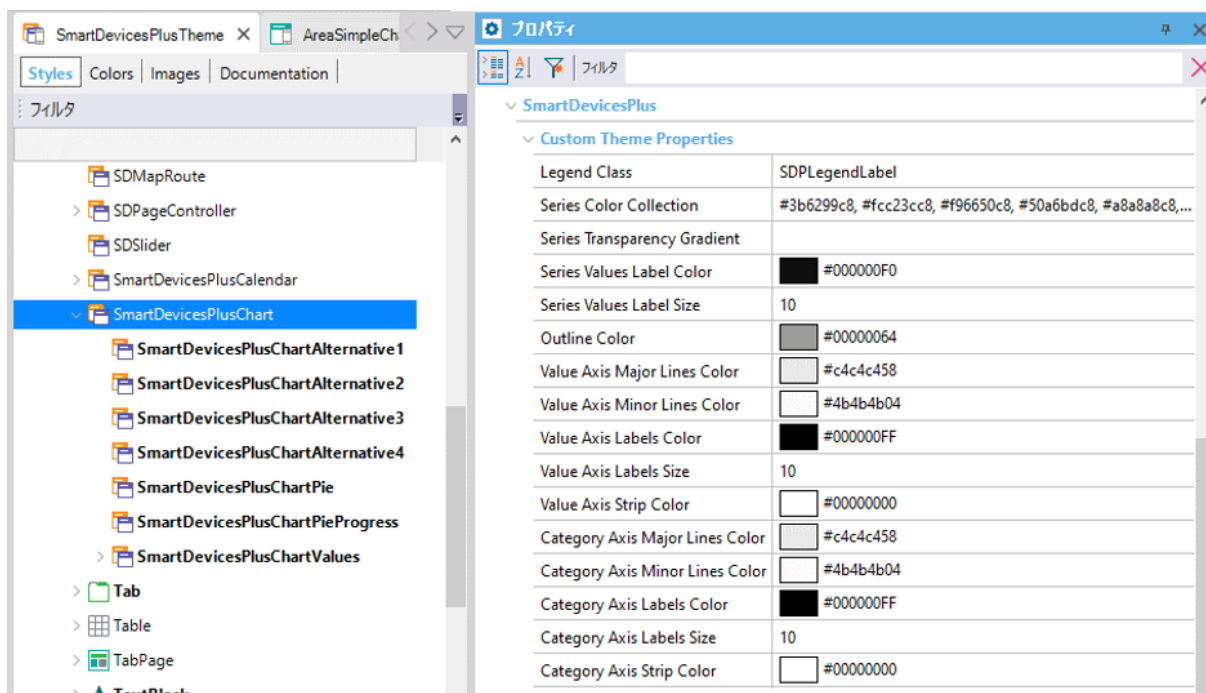
(+) をクリックしてズーム

37/42 ページ

GeneXus
 Gold Solution Partner



また、表示のカスタマイズは、「SmartDevicesPlusChart」カスタムテーマクラスを使用して行います。



- このテンプレートでは、異なるグループに分割したリストを作成できます。

グラフの移行

以前のコントロールを使用していたナレッジベースは、(以前のコントロールを)すべて移行する必要があることに注意してください。移行しないとグラフが動作しなくなります。

以前のコントロールを使用するナレッジベースを開くと、グラフの移行を促すメッセージが表示されます。

移行は手動で行うことも、SmartDevicesPlusのツールオプションを使用して自動で行うこともできます。

アップグレード

SmartDevicesPlus 6.1

新機能

GeneXus 16 Upgrade 8 との互換性

GeneXus 16 Upgrade 8 との互換性が追加されました。

修正済みの問題

iOS での SmartDevicesPlus グラフのラベル

状況によって、カテゴリ軸ラベルが適切に表示されないことがありました。

Android での SmartDevicesPlus 手書き署名の修正

「saveSignature」メソッドが動作していませんでした。

SmartDevicesPlus 6.2

修正済みの問題

GeneXus 16 Upgrade 8 の Stencil の問題

GeneXus 16 Upgrade 8 で Stencil が使用されているときに誤ったクラスが適用される問題が解決されました。

SmartDevicesPlus 6.3

新機能

レイアウトエディターの再表示の改善

レイアウトエディターで不必要にエディターが再表示されることがある問題が解決されました。

修正済みの問題

デザイン システム ウィザードのテキスト切り捨ての修正

日本語版のインストールにおいて、SmartDevicesPlus デザイン システム ウィザードのステップ 4 で一部のテキストが切り捨てられていました。

プレビュー画像の変更

一部のテンプレートのプレビュー画像が更新されました。